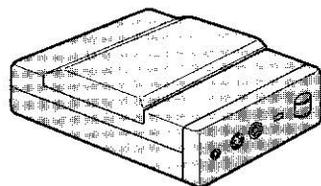
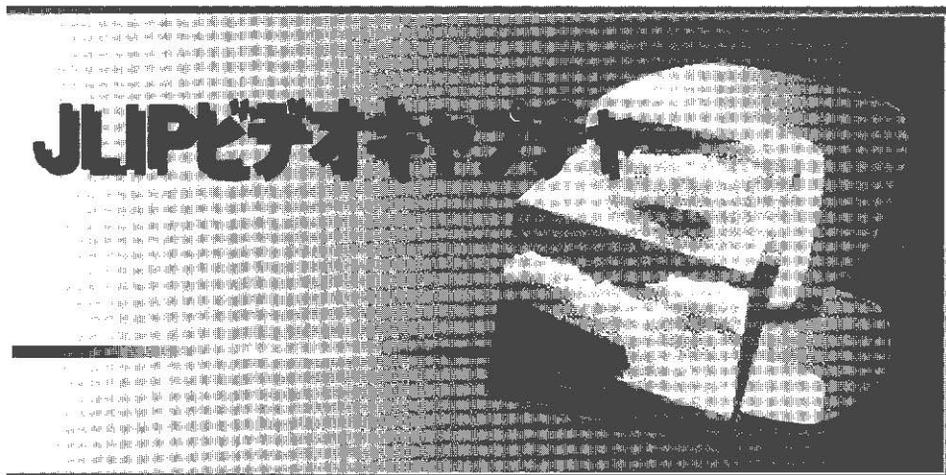


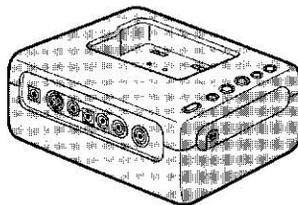
JLIPビデオ
キャプチャーボックス

JLIPビデオ
キャプチャードockingステーションキット

GV-CB1/CU-V20KIT



GV-CB1



GV-CB2
(CU-V20KITに付属)

お買い上げいただき、ありがとうございます。

- ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は製造番号が記載されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか、お確かめください。

- CD-ROMケースのシールを開封する前に、必ず添付の「ソフトウェア使用許諾書」をお読みください。シールを開封した時点で、お客様の同意が得られたものと致します。

安全上のご注意

はじめに

セットアップ編

基本操作編

応用操作編

その他

もくじ

安全

はじめに	page 4
安全上のご注意	page 5

はじめに

主な特長	page 10
JLIPビデオキャプチャーソフトについて	page 10
JLIPムービープレイヤーソフトについて	page 11
パッケージ内容	page 12
JLIPビデオキャプチャーボックス (GV-CB1)	page 12
JLIPビデオキャプチャー ドッキングステーション (CU-V20KIT)	page 13
各部のなまえ	page 14
JLIPビデオキャプチャーボックス (GV-CB1)	page 14
JLIPビデオキャプチャー ドッキングステーション (CU-V20KIT)	page 15

セットアップ編

接続をする	page 16
JLIPビデオキャプチャーボックス (GV-CB1)	page 16
JLIPビデオキャプチャー ドッキングステーション (CU-V20KIT)	page 18
ソフトのインストール	page 20
Windows®3.1の場合	page 20
Windows®95の場合	page 21
起動と終了	page 22
起動のしかた	page 22
終了のしかた	page 23

基本操作編

初期設定	page 24
JLIPの初期化	page 24
機器選択するには	page 25
パソコン画面の働き	page 26
メイン画面について	page 26
メニューバーについて	page 27
各メニュー項目は次のようになっています	page 28
画像取り込み／転送	page 32
画像取り込みについて	page 32
逐次取り込みについて	page 32
自動取り込みについて	page 34
プログラム取り込みについて	page 34
インターバル取り込みについて	page 36

画像形式の設定	page 38
画像形式を設定する	page 38
転送データについて	page 39
取り込みモードについて	page 39
画像の保存	page 40
保存する	page 40
インデックス保存について	page 40
別形式インデックス保存について	page 41
画像別名保存について	page 41
終了する	page 41
応用操作	page 42
カウンター値の変更	page 42
インデックス画像の削除	page 43
新規に作成する	page 44
インデックスを開く	page 44
ID変更	page 45
カウンターのリセット	page 45
JLIPムービープレイヤーソフトについて	page 46
JLIPムービープレイヤーソフトの保存データを使うには	page 46
JLIPムービープレイヤーソフト用にデータを保存する	page 47
こんな使い方もできます	page 48
こんなときは	page 49
エラーメッセージ一覧表	page 52
主な仕様	page 54
索引	page 56
保証とアフターサービス	page 57
サービス窓口案内	page 58

●CD-ROMの中にファイルされているReadme.txtファイルには、セットアップに関する追加の情報や、取扱説明書に記載されていない情報が載っています。付属のソフトウェアをインストールする前にお読みください。

●付属のソフトウェアの最新情報については、wwwサーバに掲載されます。

<www><http://www.jvc-victor.co.jp/>

はじめに

この取扱説明書は、JLIPデジタルキャプチャー ボックス (GV-CB1)とJLIPビデオキャプチャー ドッキングステーションキット (CU-V20KIT) の2機種共用です。相違する説明及びイラスト部分のみ機種名を明記してあります。

ビデオキャプチャーソフトとは

ビデオムービー、ビデオデッキなど映像機器からの画像を、Windows® パソコンに標準装備されている通信端子(RS-232C)から手軽に取り込むことができるアプリケーションソフトです。取り込んだ画像を、市販のペイント系ソフトを使ってホームページや絵日記、年賀状、静止画像付きのポストカードなどを、お作りください。また、JLIP端子付きの映像機器をWindows®パソコンで操作して、簡単にビデオのプログラム編集を行うことができます。映像機器にパソコンがドッキングしたマルチメディア時代の新しくクリエイティブな世界をお楽しみください。

ジェイリップ JLIP規格とは

パソコンを使ってJLIP端子付きのAV機器をコントロールできる規格です。

※JLIP: ジョイント レベル インターフェース プロトコル Joint Level Interface Protocol (外部通信制御プロトコル) の略です。

※  JLIP は、日本ビクター株式会社の商標です。

動作環境

- *Microsoft® Windows® Version 3.1日本語版又はWindows®95日本語版が動作しているパソコン
- CPU Intel DX4™以上
- RAM容量16MB以上
- ハードディスク空き容量4MB以上、画像保存用として画像1枚に付きJPEG最大約120kB、平均約50kB/ビットマップ約900kBの容量が必要となります。
- 640×480ドット、256色以上の表示が可能なカラーディスプレイ(1024×768ドット、1677万色を推奨)
- シリアル通信ポート(COM) 通信速度: 9600bps以上に対応。 D-Sub9ピンのオスコネクターでRS-232C対応のもの(16550A互換対応を推奨)(PC-9821シリーズをご使用の場合は、*page 17, 18*をご覧ください。)
- マウス(本体に接続可能でWindows®に対応したマウス)
- CD-ROMが使用できること

※Intel DX4はIntel Corporationの商標です。

※Microsoft® Windows®は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。

※その他、記載している会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

接続可能な機器

JLIP対応のビデオ機器:

- デジタルビデオムービーGR-DV1、GR-DVM1
(GR-DV1、GR-DVM1にJLIP端子付きのドッキングステーションを取り付けます。)
- JLIP端子付きビデオムービーGR-AX150、GR-880
- JLIP端子付きビデオデッキ HR-X7

JLIP対応でない映像機器:

- 映像出力端子のある映像機器

(1996年12月現在)

安全上のご注意

安全のために必ずお守りください

■本機を正しく安全にお使いいただくために必ずお守りください。

本機をご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。

表示の意味は次の通りです。

絵表示	製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付く可能性があるもの。



絵表示は、注意（警告を含む）が必要であることをお知らせしています。



絵表示は、禁止行為であることをお知らせしています。

例)  は「分解禁止」



絵表示は、お守りいただく行為であることをお知らせしています。

例)  は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」

※ JLIPビデオキャプチャーボックス/JLIPビデオキャプチャードッキングステーションのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。

安全上のご注意(つづき)

警告

■万一異常が発生したら、差し込みプラグをすぐ抜く!!

煙が出たり変な音やにおいがするなど異常状態のまま使わないでください。火災、感電の原因となります。このようなときは、差し込みプラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険です。絶対におやめください。



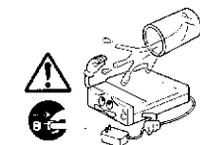
■落としたり、壊れたときなどは、差し込みプラグを抜く

販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。



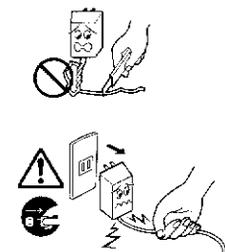
■内部に水や異物が入ったときは、差し込みプラグを抜く

販売店に連絡してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。お客様ご自身による修理は危険です。絶対におやめください。



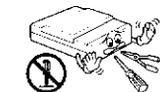
■電源コードを大切に

電源コードの上に、重い物をのせたり、熱器具に近づけないでください。電源コードが破損します。電源コードに傷がつくと火災、感電、故障の原因となります。電源コードを加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったりすると火災、感電の原因となります。電源コードが傷んだらすぐに販売店にご連絡ください。差し込みプラグを抜くときは電源コードを引っばらずに必ず差し込みプラグを持って抜いてください。



■本機のカバーをはずしたり、改造しない

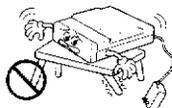
内部には電圧の高い部分がありますので、手を触れると感電の原因となります。内部の点検・調整は販売店にご依頼ください。また、本機を改造しないでください。火災、感電の原因となります。



警告

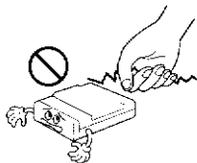
■不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



■内部に物を入れない

端子部などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。
火災や感電の原因となります。
特にお子様にご注意ください。



■電源はAC100Vを使う

AC100V電源をお使いください。表示された電源電圧以外で使用すると、火災、感電の原因となります。また、差し込みプラグはコンセントにしっかりと差し込んでください。専用のACアダプター以外は使用しないでください。火災、感電の原因となります。



■ぬらさない

火災や感電の原因となります。
風呂場では使用しないでください。
水などの入った容器（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）は、こぼれたりしますので、機器の上には置かないでください。



安全上のご注意(つづき)

⚠️ 注意

■本機を次のような場所には置かない

火災、感電の原因となることがありますので、本機を次のような場所に置かないでください。

- ・湿気やほこりの多いところ
湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
- ・油煙や湯気が当たるような場所はさけてください。
- ・高温になるところ
直射日光が当たる場所や熱器具の近くなど異常に温度が高くなる場所に置かないでください。



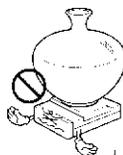
■ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しをしない

感電の原因となることがあります。



■上に重い物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。



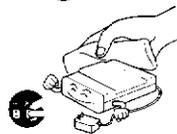
■上にのらない

倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にご注意ください。



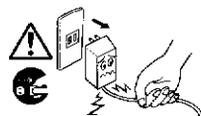
■お手入れするときは、差し込みプラグを抜く

お手入れするときは、安全のため差し込みプラグをコンセントから抜いてください。



■ご使用にならないときは

- ・安全のため必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
- ・GV-CB1に乾電池を取り付けている場合は、取り外してください。



■指定以外のアクセサリは使用しない

本機に使用するアクセサリは、必ず「取扱説明書」で指定しているものをご使用ください。それ以外のアクセサリを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

■5年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないで使用し続けると、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に点検をすると、より効果的です。費用については、販売店にご相談ください。



■海外では使用できません

このJLIPビデオキャプチャーボックスGV-CB1及びGV-CB2を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

<CAUTION: This JLIP VIDEO CAPTURE BOX GV-CB1 and GV-CB2 set can not be used in foreign country as designed for Japan only.>

■CD-ROMの取り扱いについて

鏡面（文字などが印刷されている面と反対の面）を汚したり、傷を付けないようにしてください。また、裏表どちらの面にも文字を書いたり、シール等を貼らないでください。汚れたときは柔らかい布で中心孔から外側へ放射状に軽く拭き取ってください。

従来のレコード・クリーナーやスプレーは使わないでください。

ディスクを曲げたり、鏡面に触れたりしないでください。

ほこり、直射日光、高温多湿の場所は避けてください。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づく第二種情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機をテレビやラジオなどに近接してご使用になると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

主な特長

GV-CB1またはCU-V20KIT添付のCD-ROMには、2つのソフトが付いています

JLIPビデオキャプチャーソフトについて

本書では、このビデオキャプチャーソフトについて説明しています。

ビデオキャプチャー機能

Windows®パソコンのシリアルポート(RS-232C)から簡単にビデオムービーやビデオデッキなど映像機器の画像を640×480ドット、1677万色の静止画像として取り込むことができます。

JLIPコントロール機能

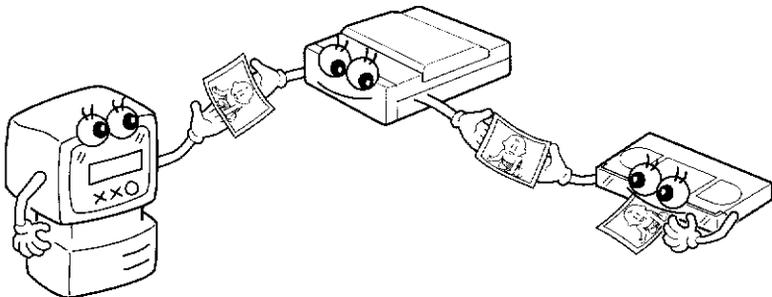
JLIP対応のビデオムービーやビデオデッキをご使用になると

- ・ビデオの操作はの一部をパソコンのモニター画面上でおこなえます。
- ・プログラム画像取り込みで最大99個の画像を自動的に(ビデオの再生→頭出し→画像をパソコンに転送)行うことができます。

JLIPムービープレイヤーソフトとのデータ共有機能

JLIPムービープレイヤーソフトからのデータを読み込んで使用できます。

またビデオキャプチャーのデータをムービープレイヤーソフト用に交換してプログラム再生や、自動編集ができます。



JLIPムービープレイヤーソフトについて

本書では、このムービープレイヤーソフトについては、説明していません。操作方法については、別冊のJLIPムービープレイヤー取扱説明書をご覧ください。

JLIPコントロール機能

JLIP対応のムービーやビデオデッキ及びビデオプリンター（GV-PT1, GV-PT2）をご使用になると

- ・ビデオの操作の一部をパソコンのモニター画面上でおこなえます。
- ・プログラム再生（99プログラムまで可能）やビデオのプログラム編集が可能です。
- ・ビデオプリンターGV-PT1の画質設定ができます。
- ・ビデオプリンターGV-PT2へのプリント命令ができます。

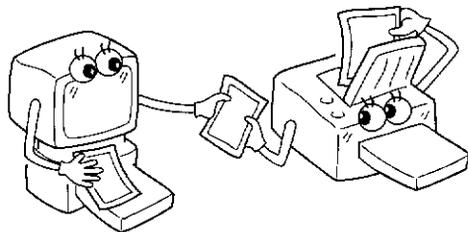
は
じ
め
に

ビデオキャプチャーソフトとの連携プレーも可能です

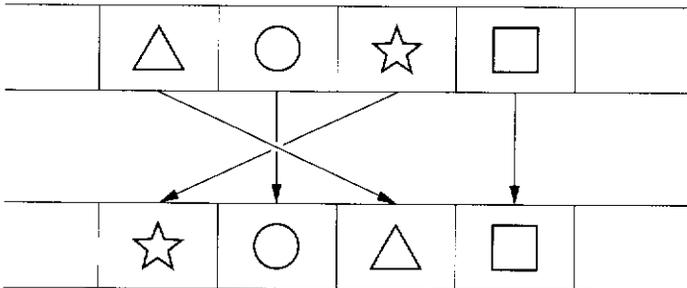
ビデオキャプチャーのデータをムービープレイヤーソフト用に変換して逆にムービープレイヤーソフト側で利用することができます。

自動編集とは

録画済みテープから好きな場面だけを集めて編集することができます。



撮影済みテープ
(ムービー)



編集済みテープ
(ビデオデッキ)

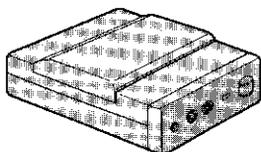
パッケージ内容

JLIPビデオキャプチャーボックス (GV-CB1) をお買い上げの方は

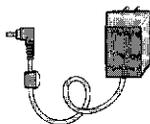
箱を開けたら、次のものがすべてそろっていることをご確認ください。

万一足りないものや、破損しているものがある場合は、お買い上げした販売店または「ビクターサービス窓口」(page 58～page 59参照)にご相談ください。

- 本機はアルカリ乾電池でも動作できますが、添付していません。市販のアルカリ乾電池でご使用する場合は別途お買い求めください。
- PC9800シリーズをお使いのお客様は、市販の変換アダプター (page 17参照) をご使用ください。



JLIPビデオキャプチャーボックス
GV-CB1 (本機)



ACアダプター
(DC 9V)



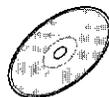
パソコン接続用ケーブル
約 1.5m
D SUB 9ピン



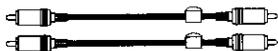
S映像コード
約 1.5m



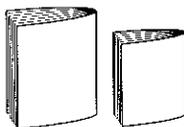
JLIP端子接続用 (3本)
φ 3.5 4極コード



CD-ROM
CD-ROMには2つのソフト
が入っています。
・JLIPビデオキャプチャー
・JLIPムービープレイヤー



映像コード (2本)
約 1.5m

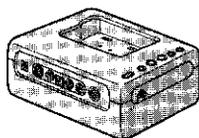


取扱説明書 (本書) /
JLIPムービープレイヤー用
取扱説明書

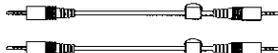
JLIPビデオキャプチャードッキングステーション(CU-V20KIT)をお買い上げの方は

箱を開けたら、次のものがすべてそろっていることをご確認ください。
 万一足りないものや、破損しているものがある場合は、お買い上げした販売店または「ピクチャーサービス窓口」(page 58~page 59参照)にご相談ください。

●PC9800シリーズをお使いのお客様は、市販の変換アダプター (page 17参照) をご使用ください。



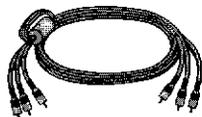
JLIPビデオキャプチャードッキングステーション
GV-CB2 (本機)



JLIP端子接続用 (2本)
φ3.5 4極コード



パソコン接続用ケーブル
約1.5m
D SUB 9ピン



映像/音声コード
約1.5m



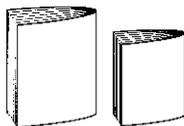
映像コード
約1.5m



S映像コード
約1.5m



編集コード
約1.5m



取扱説明書 (本書) /
JLIPムービープレイヤー用
取扱説明書



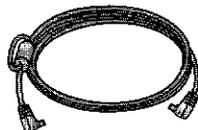
CD-ROM
CD-ROMには2つのソフトが入っています。
・JLIPビデオキャプチャー
・JLIPムービープレイヤー



リモートコントロールユニット
RM-V708 (リモコン)
くわしい取り扱いについては、ムービーの取扱説明書をご覧ください。



ボタン電池 (CR2025)
リモコン用

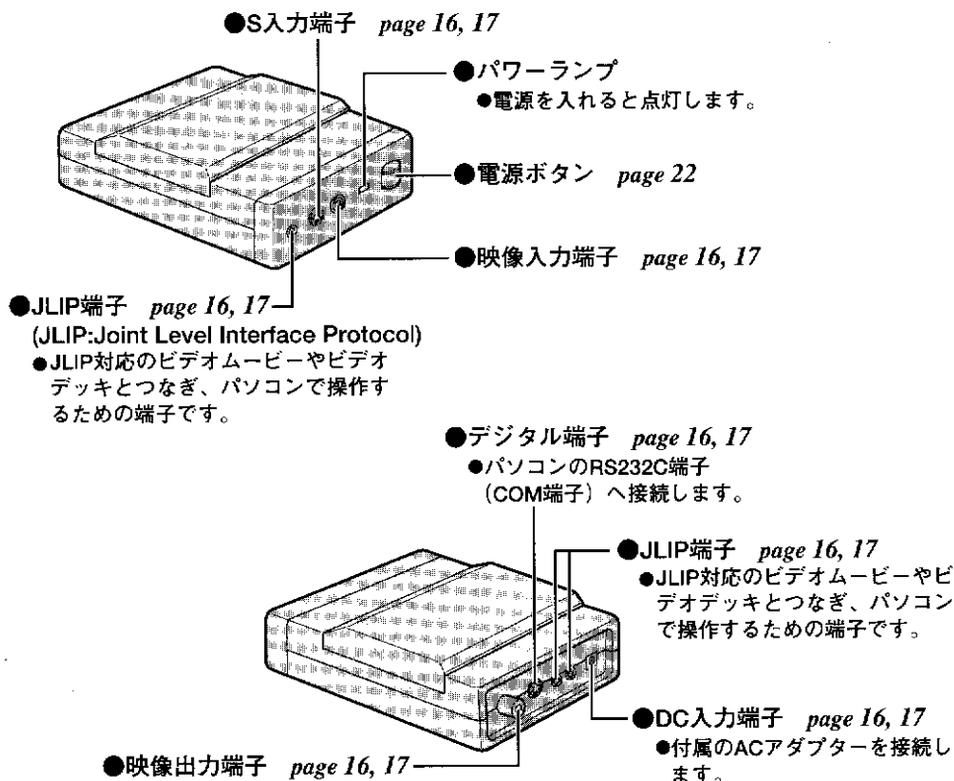


DCコード
約2m

ピクチャーサービス

各部のなまえ

JLIPビデオキャプチャーボックス(GV-CB1)をお買い上げの方は

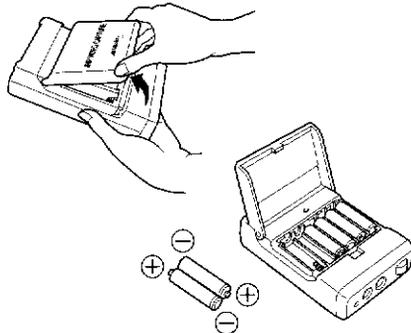


乾電池の入れかた

JLIPビデオキャプチャーボックスを市販のアルカリ単3乾電池で動作させることができます。

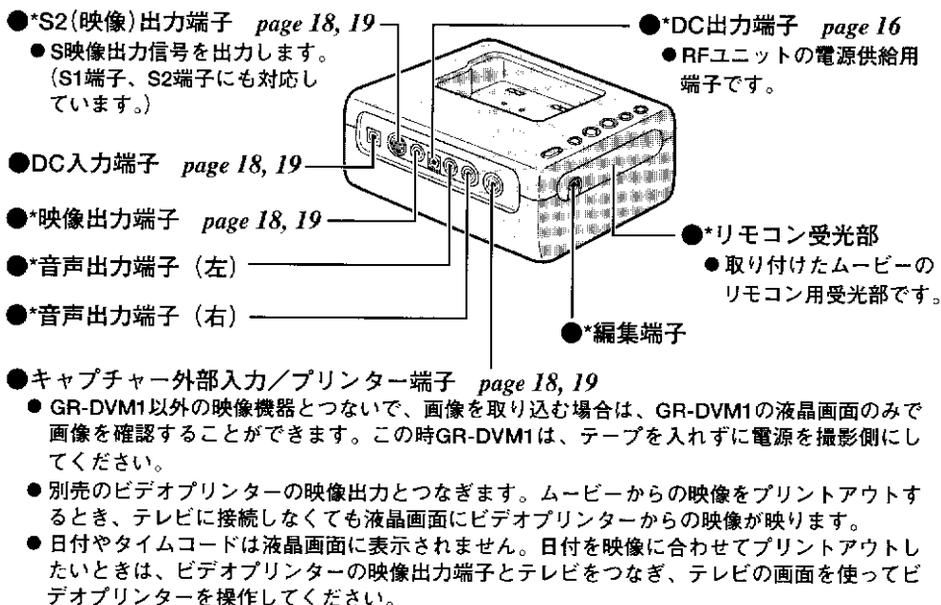
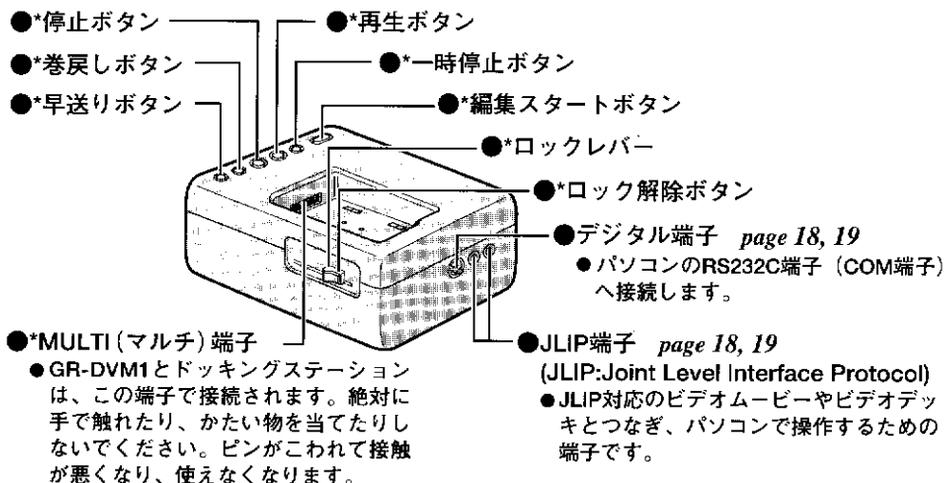
- 市販のアルカリ単3乾電池を6本入れます。
- 乾電池の向きを間違えないように、気を付けて入れてください。
- ご使用にならない時は、乾電池を取り外して保管してください。
- 使用直後、乾電池は熱くなっていますので、ご注意ください。

フタを開ける



JLIPビデオキャプチャドッキングステーション(CU-V20KIT)をお買い上げの方は

★印の付いたコントロールは別売のムービーGR-DVM1を取り付けた時のみ使用可能になります。
くわしい取り扱いについてはムービーの取扱説明書をご覧ください。

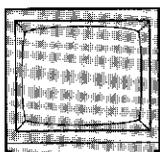




接続をする

JLIPビデオキャプチャーボックス (GV-CB1) をお買い上げの方は

- 安全のため各機器の電源を切ってから接続してください。
- 映像は接続しているテレビに映ります。パソコン画面上で確認することはできません。
- 付属のコードを接続するときは、必ずノイズフィルターが付いている方の端子を、ビデオキャプチャーボックスに取り付けてください。

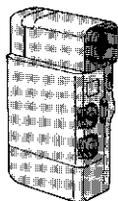


映像入力端子へ

映像コード(付属)

テレビ
(入力切り換えを'ビデオ'
(外部入力)にする)

JLIP端子、S映像出力端子付きの機器



映像出力
端子へ

S映像出力
端子へ

JLIP
端子へ

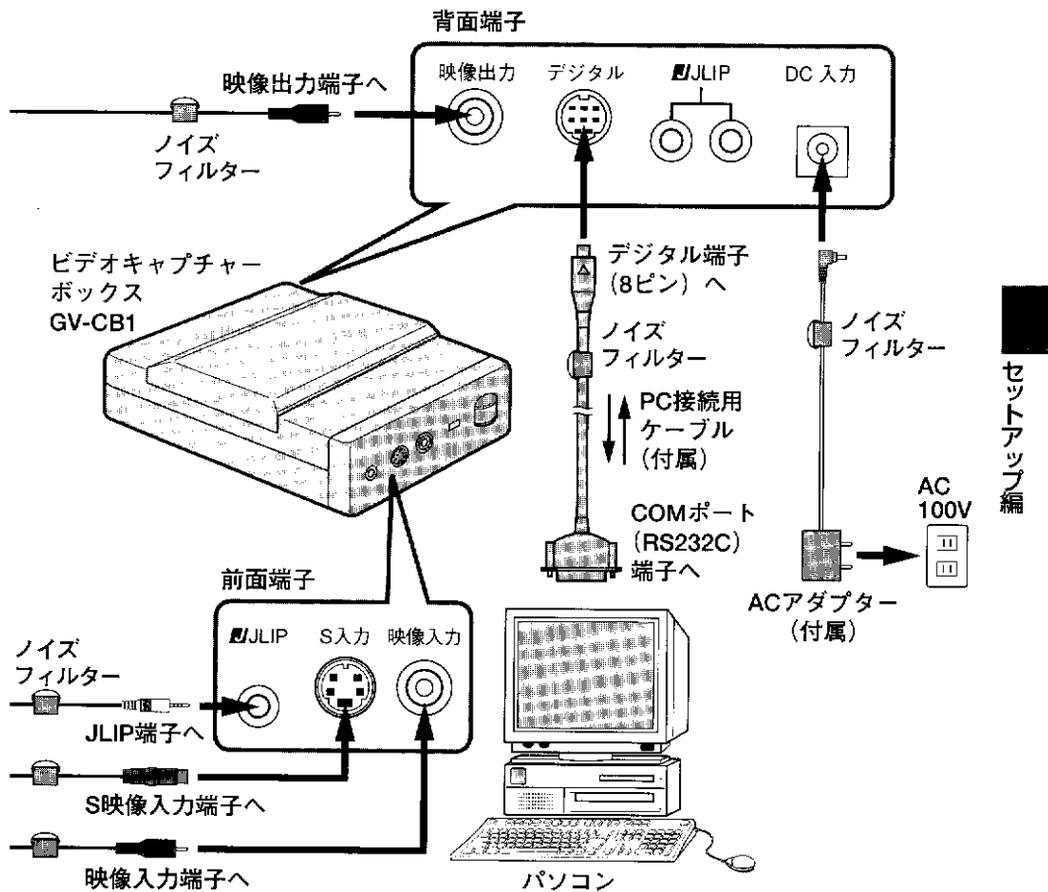
その他映像出力
端子付機器

JLIP端子がある場合
は接続します。

φ 3.5 4極コード(付属)

S映像コード(付属)

映像コード(付属)



● PC9821シリーズ(デスクトップ)をお持ちの方は市販の変換アダプターが必要な場合があります。

- ・RS232C変換アダプター
D-sub 9ピンオス → D-sub 25ピンオス

● PC9821シリーズ(ノート)をお持ちの方は市販の変換ケーブルとアダプターが必要な場合があります。

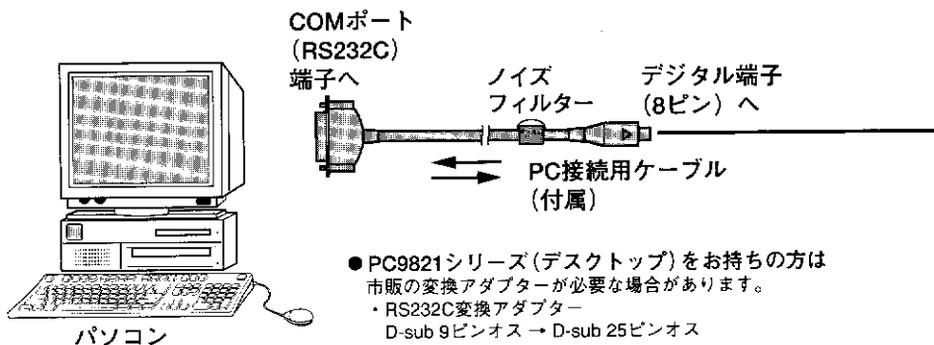
- ・RS232C変換アダプター
D-sub 9ピンオス → D-sub 25ピンオス
- ・RS232C変換ケーブル(ストレート)
D-sub 25ピンメス → D-sub 14ピンオス(ハーフピッチ)



接続をする(つぎ)

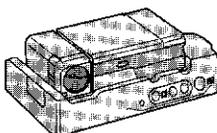
JLIPビデオキャプチャードッキングステーション(CU-V20KIT)をお買い上げの方は

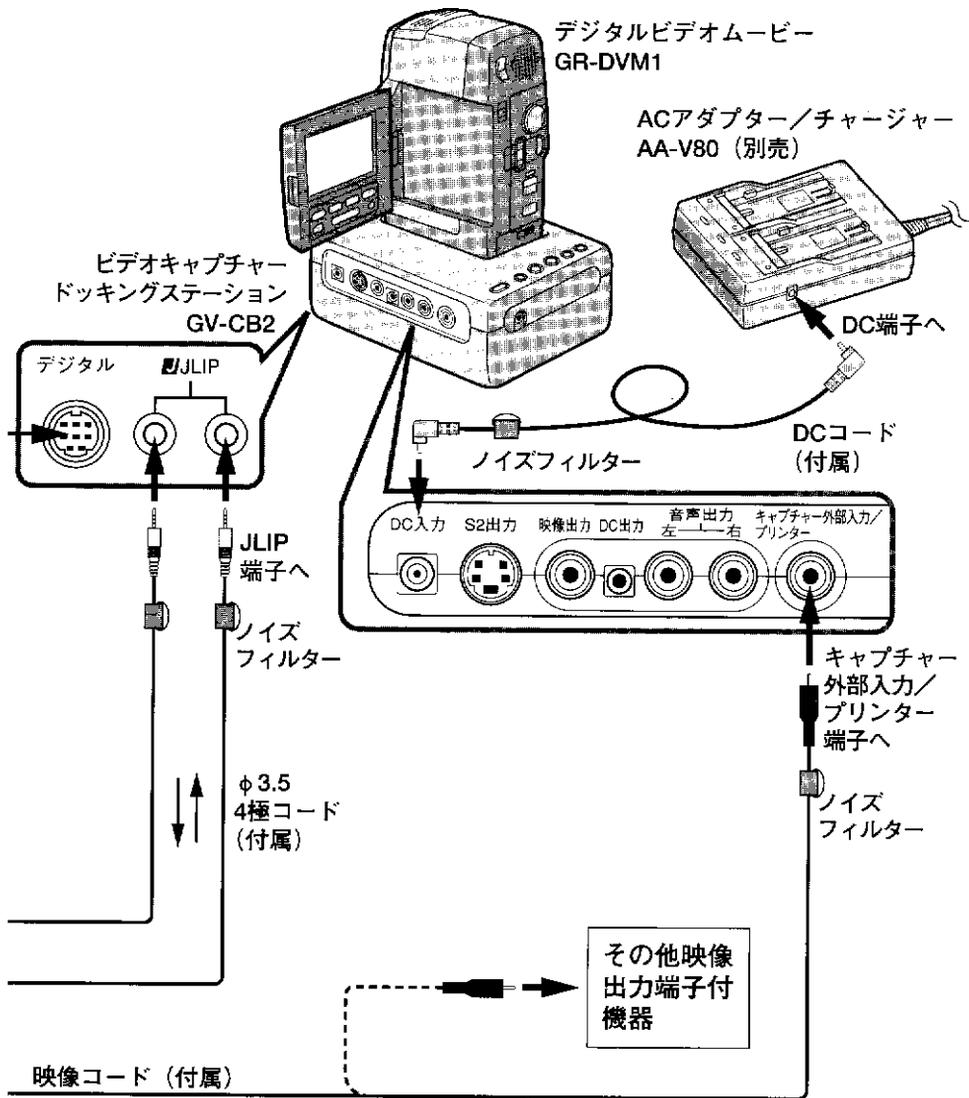
- 安全のため各機器の電源を切ってから接続してください。
- 映像はGV-CB2に取り付けているGR-DVM1の液晶画面に映ります。パソコン画面上で映像を確認することはできません。
- 付属のコードを接続するときは、必ずノイズフィルターの付いている方の端子をビデオキャプチャードッキングステーションに取り付けてください。
- 本機(GV-CB2)をご使用になるには、別売のACアダプター/チャージャーAA-V80を別途お買い求めください。



- PC9821シリーズ(デスクトップ)をお持ちの方は市販の変換アダプターが必要な場合があります。
 - ・RS232C変換アダプター
 - D-sub 9ピンオス → D-sub 25ピンオス
- PC9821シリーズ(ノート)をお持ちの方は市販の変換ケーブルとアダプターが必要な場合があります。
 - ・RS232C変換アダプター
 - D-sub 9ピンオス → D-sub 25ピンオス
 - ・RS232C変換ケーブル (ストレート)
 - D-sub 25ピンメス → D-sub 14ピンオス (ハーフピッチ)

JLIP端子、映像出力端子付きの機器





セットアップ編



ソフトのインストール

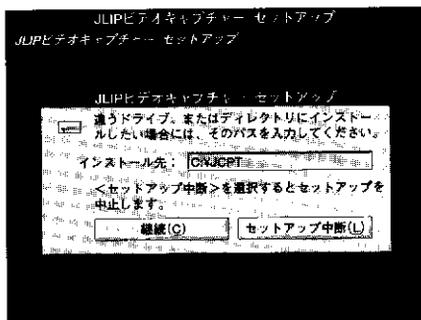
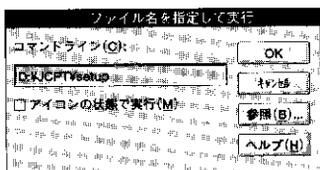
WINDOWS®3.1ご使用のかたは

Windows®3.1の基本操作については、Windows®3.1またはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

インストール手順

*セットアップするには...

1. Windows®3.1を起動します。
 - ・もしほかのソフトを使用している場合は終了させてください。
プログラムマネージャをアイコン化して、プログラムマネージャ以外のアイコンが無いことを確認してください。
2. 「JLIPビデオキャプチャー」ソフトCDをCDドライブに挿入します。
3. Windows®のプログラムマネージャで [アイコン] - [ファイル名を指定して実行] コマンドを選択します。
4. 「JLIPビデオキャプチャー」ソフトをインストールします。
例) ドライブDに挿入したとき
[コマンドライン] テキストボックスに **D:*JCPT*setup** と入力します。
 - ・挿入するドライブは、ご使用のパソコンによって違います。ご注意ください。
 - ・<OK>ボタンを押します。
 - ・セットアッププログラムが起動したら、画面に表示される指示に従ってください。
 - ・セットアップが終了すると「ビデオキャプチャーソフト」アイコンが画面に表示されます。
 - ・「JLIPビデオキャプチャーインストールが終了しました」とメッセージが表示されます。
5. <OK>ボタンをクリックしてください。これでインストールは完了です。



WINDOWS®95ご使用のかたは

Windows®95の基本操作については、Windows®95またはパソコンの取扱説明書をご覧ください。

インストール手順

*セットアップするには.....

1. Windows®95を起動します。

- もしほかのソフトを使用している場合は終了させてください。
また、タスクバーに他のアプリケーションのアイコンが無いことを確認してください。

2. 「JLIPビデオキャプチャー」ソフトCDをCDドライブに挿入します。

3. [スタート] ボタンから [ファイル名を指定して実行] を選びます。

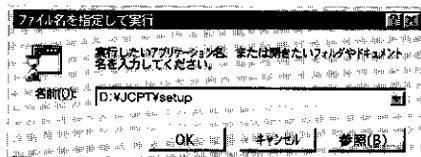
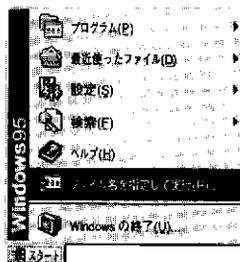
4. 「JLIPビデオキャプチャー」ソフトをインストールします。

例) ドライブDに挿入したとき

[名前] のボックスにD:\JCPTY\setupと入力します。

- 挿入するドライブは、ご使用のパソコンによって違います。ご注意ください。
- <OK>ボタンを押します。
- セットアッププログラムが起動したら、画面に表示される指示に従ってください。
- セットアップが終了すると「JLIPビデオキャプチャー」アイコンが画面に表示されます。
- 「JLIPビデオキャプチャーインストールが終了しました」とメッセージが表示されます。

5. <OK>ボタンをクリックしてください。これでインストールは完了です。





起動と終了(操作の基礎知識)

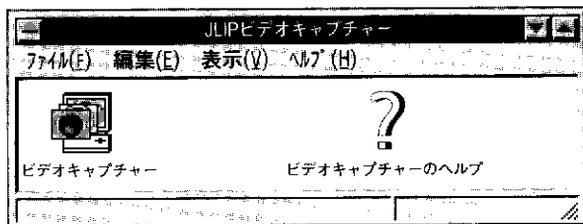
本製品はWindows®の標準的な手順で起動することができます。手順はWindows®3.1とWindows®95では異なります。

準備

- page 16～19の接続をしてください。
- パソコンの電源を入れて立ち上げてください。
- GV-CB1をご使用の場合は、電源ボタンを押して電源を入れてください。
- ビデオ出力端子付き機器(ビデオムービー、ビデオデッキなど)の電源を入れてください。
- 録画したテープから静止画を取り込む場合は、機器にテープを入れてください。
- もしJLIPムービープレイヤーソフトの保存データを使って映像を取り込む場合は必ず保存したときのテープを機器に入れてください。
- もし、他のソフトを使用している場合は終了させてください。同時に使用することはできません。

Windows®3.1での標準的なアプリケーションの起動方法は以下のとおりです。

プログラムマネージャでアプリケーションのグループアイコンを開き、その中にあるアプリケーションアイコンをダブルクリックする。



Windows®95ではタスクバーの[スタート]ボタンをクリックするとメニューが表示され[プログラム]項目にマウスポインターを置き、表示されるメニューから起動します。



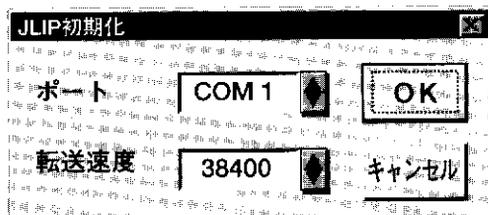


初期設定

JLIPの初期化

ビデオキャプチャーソフトを起動したらJLIPの初期化が必要です。ビデオキャプチャーボックス：GV-CB1（またはビデオキャプチャードockingステーションキットCU-V20KITのGV-CB2）がパソコンのどのCOMポート（RS-232Cケーブルを接続しているコネクタ）に接続しているか設定します。インストール直後にソフトを起動すると、自動的に表示します。必ずこのJLIP初期化設定をおこなってください。その他、接続機器を変更する時もこの設定をおこなってください。

1. 「JLIPビデオキャプチャー」ソフトを起動します。
2. [JLIP初期化] 画面を自動的に表示します。
3. [ポート] を選択します。
 - ・ポートはCOM1～COM4まであります。パソコンのどのCOMポートに接続しているかを確認して選択します。
4. [転送速度] を選択します。
 - ・通常は38400を選択します。
 - ・ご使用のパソコンによっては、38400を使用出来ない機種も有ります。使用中に通信エラーが発生する時は、19200または9600に設定してください。この場合、画像転送速度は、遅くなります。
5. <OK>ボタン をクリックしてください。[JLIP初期化处理] 画面を表示し、接続している機器をしらべます。



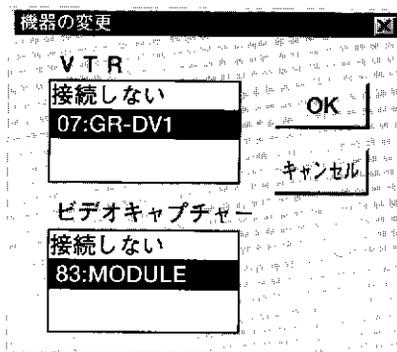
接続機器やポートを変更する時は、メニューバー [設定] - [JLIP初期化] コマンドを選択して、[JLIP初期化] 画面を表示し、この設定をおこないます。

正しく接続されていないときや、接続機器の電源が入っていないとき、または、接続IDナンバーが重なっているときは、接続エラーメッセージが表示されます。

<OK>を押すとメイン画面に戻ります。

機器選択する

6. [機器の変更] 画面を表示します。
7. 必要な機器名をクリックして選択します。
 - ・VTRの欄に、接続している映像機器のモデル名を表示します。
 - ・ビデオキャプチャーの欄に、ご使用になっているビデオキャプチャーの機器を表わす単語“MODULE”を表示します。
8. <OK>ボタンをクリックしてください。
 - ・メイン画面に戻ります。(設定終了)



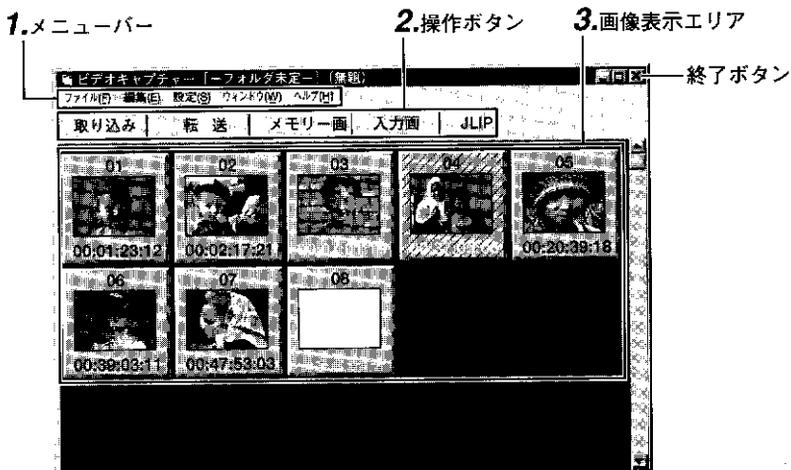
メモ

【機器の変更】画面は、[JLIP初期化]が終了すると、自動的に表示します。しかし、JLIP初期化済みの接続機器を選択しなおすときは、メニューバーの[設定]—[接続機器変更]コマンドを選択して、【機器の変更】画面を表示し、この設定をおこないます。



パソコン画面の働き

メイン画面について



1. メニューバー

各機能を実行するためのメニューが表示されます。くわしくは右ページをご覧ください。

2. 操作ボタン

- ・ **取り込みボタン** (page 30~page 35)
ビデオ機器からお好みの画像を取り込む時に押します。このボタンを押すと操作ボタンの下にインデックス画像が表示されます。
- ・ **転送ボタン** (page 32~page 37)
転送ボタンとは、自動キャプチャースタートするボタンです。自動キャプチャーには自動プログラムキャプチャーと自動インターバルキャプチャーがあります。
- ・ **メモリー画/入力画ボタン**
本機が記憶しているメモリー画像と、映像機器の映像を交互に切り換えて見るときに押します。
- ・ **JLIPボタン** (page 32~page 37)
JLIPプレイヤーソフトをご使用になる場合は、このボタンを押して横バーを表示させてからご使用ください。

メモ

JLIPムービープレイヤーソフト終了後、JLIPビデオキャプチャーソフトに戻る時は、JLIPムービープレイヤーソフトを閉じてから、JLIPビデオキャプチャーソフトのJLIPボタンを押してご使用ください。

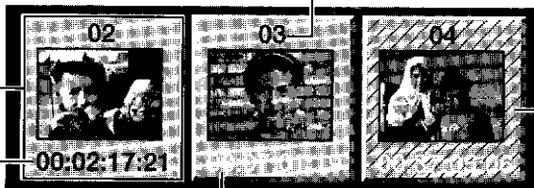
3. 画像表示エリア (page 30, page 40)

取り込みボタンを押すたびにインデックス画像を画像表示エリアに取り込みます。横に5個ずつ最大99個まで取り込み可能です。インデックス画像(80×60ドット)は自分が画像データ(640×480ドット)を転送したい画像かどうか確かめるために使います。

画像表示ボックス

- ・クリックして選択すると、緑の四角で囲まれます。
- ・ダブルクリックすると、画像データ転送済みの場合は、画像データを表示します。

インデックス番号は自動的に付けられます。



カウンター表示

現在のテープ位置を表示します。

例 00:02:17:21

時:分:秒:フレーム

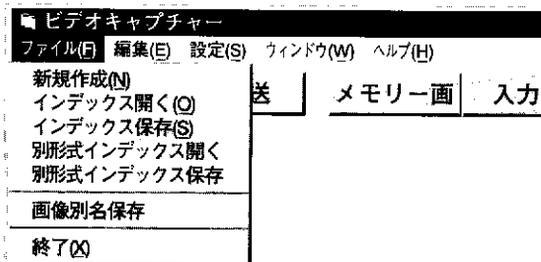
カウンター数字の色について

黒数字:画像データが転送済

白数字:画像データが未転送

カウンターの時間修正を行うとこのように斜線が入ります。(page 42)

メニューバーについて



メニューバーには、各機能を実行するためのメニューが表示されます。メニューバー上の各メニュー項目をクリックすると、それぞれのメニューが開きます。実行したい機能のメニュー項目をクリックすると、その機能が実行されます。機能によっては、そのときの状態により実行できないものがあります。実行できない機能のメニュー項目は表示が薄くなります。





パソコン画面の働き(つづき)

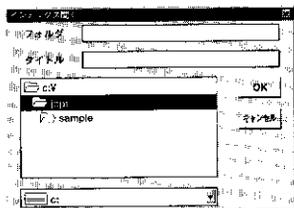
各メニュー項目は次のような構成になっています

ファイル(F)	
新規作成(N)	画面上に表示している画像を消して、新規に作成します。(page 44)
インデックス開く(O)	インデックスファイルを開くときに使用します。
インデックス保存(S)	表示されているインデックス画像を保存するときに使用します。
別形式インデックス開く	JLIPムービープレイヤーソフトのカウンターデータファイルを開くときに使用します。
別形式インデックス保存	カウンターのデータをJLIPムービープレイヤーソフトのファイルに変換して保存します。
画像別名保存	1枚分の画像ファイルを別のフォルダやドライブにファイルを保存するときに使用します。
終了(X)	プログラムを終了します。(page 41)



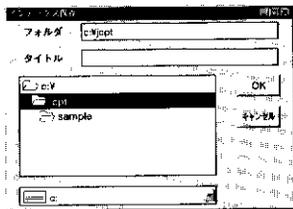
メニュー項目をクリックすると、以下の画面が開きます。

〔インデックス開く〕画面



開きたいインデックスフォルダ名を選択してください。タイトルが表示されます。(page 44)

〔インデックス保存〕画面



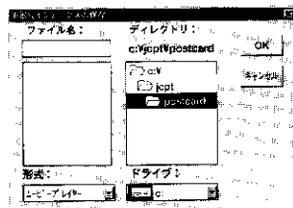
保存したいインデックス画像のフォルダ名、タイトルを入力してください。(page 40)

〔別形式インデックス開く〕画面



JLIPムービープレイヤーソフトで作成したディレクトリ名とファイル名を選択してください。ファイルが開かれ、プログラム編集時のイン点のカウンター値が表示されます。(page 46)

〔別形式インデックス保存〕画面



保存したいディレクトリ名を選択し、ファイル名を入力してください。JLIPムービープレイヤーソフトのファイルに変換して保存されます。ムービープレイヤーソフトで画面をプリントしたり、編集のイン点にすることができます。(page 41, 47)

〔画像別名保存〕画面



画像表示ボックスのうち、緑のわくで囲まれた1枚分の画像データを別のディレクトリやドライブ（フロッピーディスクや別のハードディスク）などに画像データを保存するとき 사용합니다。 (page 41)

編集(E)



- ・ 選択している画像ボックスに、本機が記憶しているメモリ画像をインデックス画像データ(80×60ドット)でパソコンに転送します。(逐次取り込み時)
- ・ 選択しているカウンター値まで映像機器が頭出しをおこない、インデックス画像を転送します。(自動転送時)

- ・ 選択している画像ボックスに、本機が記憶しているメモリ画像を画像データ(680×480ドット)でパソコンに転送します。(逐次取り込み時)
- ・ 選択しているカウンター値まで映像機器が頭出しをおこない、画像データ(680×480ドット)を転送します。(自動転送時)

カウンターの数字を修正して自動取り込み時の頭出しを変更できます。

緑のわくで指定されているインデックス画像を削除できます。(page 43)



基本操作編



編集メニューの項目をクリックすると、以下の画面が開きます。

〔インデックス画像転送〕画面



(page 42)

〔画像データ転送〕画面



(page 42)

〔時間修正〕画面



カウンターを修正したいときにおこないます。(page 42)



パソコン画面の働き(つづき)

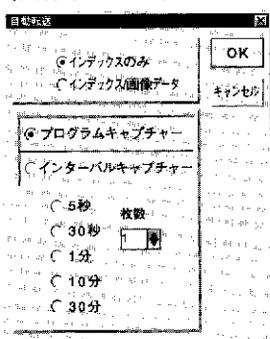
設定(S)

- 画像取り込み → 逐次 (page 32~33) と自動 (page 34~37) の2種類のモードがあります。
- 画像形式 → 転送画像データの形式とキャプチャーモードを設定します。(page 38~39)
- 接続機器変更 → 接続機器を変更したい時に設定します。(page 23)
- JLIP初期化 → 接続してあるCOMポートと転送速度を変更したい、または新たにJLIP機器
- ID変更 → 器を接続した時に初期設定します。(page 22)
- カウンターリセット → 本機のIDナンバーを変更します。(page 45)
- VTR機器のカウンターをリセットします。(page 45)



設定メニューの項目をクリックすると、以下の画面が開きます。

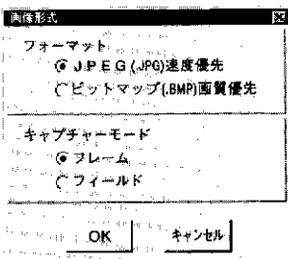
〔画像取り込み〕画面



JLIP端子の付いたビデオ機器が接続されている時のみ設定可能です。転送する画像データやキャプチャーモードを設定します。

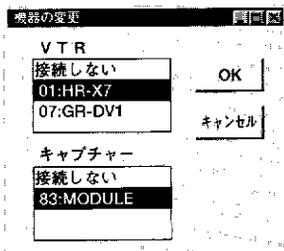
- ・プログラム (page 32~33)
- ・インターバル (page 36~37)

〔画像形式設定〕画面



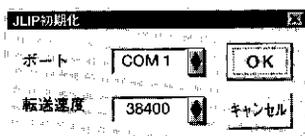
転送フォーマットとキャプチャーモードを設定します。(page 38)

〔接続機器の変更〕画面



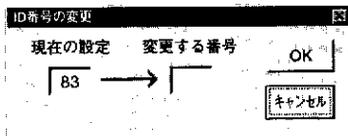
接続機器を変更したときに設定します。(page 23)

〔JLIP初期化〕画面



ポートと転送速度を設定して<OK>をクリックすると機器スキャンを実行します。実行中はバーグラフが表示されます。(page 22)

〔ID変更〕画面



本機のIDナンバーを変更します。01~99まで設定できます。他の機種と重複していないことを確認して設定してください。(page 45) 工場出荷時は、83に設定されています。

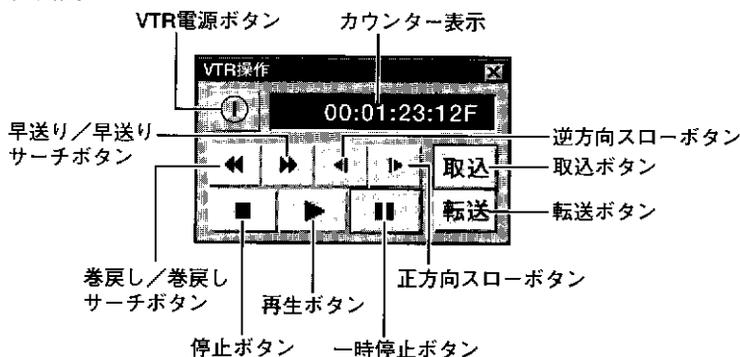
ウインドウ(W)

- インデックス整理 — インデックス画像を削除したときにそのスペースを詰める時に使います。
- VTR操作 — VTR操作画面を表示し、パソコンでVTRの操作ができます。



ウインドウメニューのVTR操作項目をクリックすると、以下のメニューが開きます。

〔VTR操作〕画面



VTR操作画面で操作可能なモデル (JLIP対応のVTR)

GR-DV1、GR-DVM1、GR-AX150、GR-880、HR-X7
(1996年12月現在)

- ・スロー再生するには、一時停止ボタンを押したあとにスローボタンをクリックしてください。
(1996年12月現在の対応モデルはGR-DV1、GR-DVM1、HR-X7のみです)
- ・GR-AX150、GR-880は電源ボタンの対応がされていません。

ヘルプ(H)

- 目次(C) — ヘルプの目次を表示します。
- バージョン情報(A) — このソフトのバージョン情報を表示します。

メモ

VTR側でキー操作したとき、または取り込みや転送後は、VTRの動作と違っている場合があります。

メモ

カウンターリセット

ご使用になっているVTR機器がDV方式のデジタルビデオムービーの場合、カウンターは、テープ上にタイムコードとして書き込まれるため、カウンターリセットはすることができません。

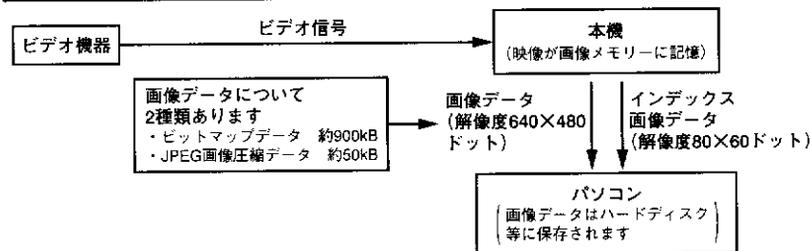


画像取り込み/転送

画像取り込み/転送について

画像取り込み/転送には、逐次取り込みと自動転送の2種類の方法があります。このうち自動転送は、JLIP対応のビデオ機器が接続されている場合のみ画像取り込みが可能です。JLIP対応でない映像機器では逐次取り込みで画像を取り込みます。

画像データの流れ



画像データを2HDディスク1枚に保存する場合は、

- ・ビットマップデータは1枚
- ・JPEG画像圧縮データは約28枚

保存することができます。この場合は、新規フォーマットのフロッピーディスクを使用した時の目安です。(1.44 MB)

メモ

インデックス画像は画像表示ボックスに表示します。画像(640×480ドット)は、画像表示ボックスをダブルクリックすると表示します。ただし、画像データ転送済みのときのみです。

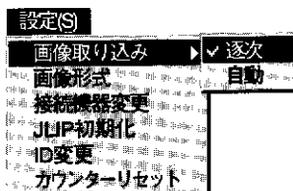
逐次取り込みについて

逐次取り込みは、JLIP対応でない映像機器や、その他の映像出力端子のある機器から画像を取り込む場合や、取り込む画像枚数が少ないとき、画像を確認しながら取り込みたい時におすすめします。

準備

- ・page 16~19の接続をします。
- ・[設定]—[画像形式]をクリックして設定します。(page 30, page 38~39参照)
- ・起動時は逐次に設定しています。

1. メニューバーから[設定]—[画像取り込み]—[逐次]をクリックします。
 - ・逐次モードになります。



2. お好みの画面で [取り込み] ボタンをクリックします。

- J-LIP対応のビデオ機器が接続されている時は、[ウィンドウ] - [VTR操作] をクリックしてVTR操作画面で 頭出しできます。(page 30~page 31)
- [取り込み] ボタンが押されると、映像が本機のメモリーに取り込まれ、同時にパソコンにはインデックス画像 (80×60ドット) データが転送されます。

3. パソコンにインデックス画像データを転送します。

- データ転送中は「No.01インデックス画像転送中…」とメッセージを表示します。

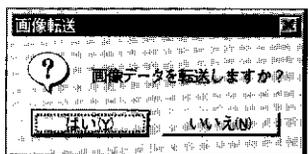
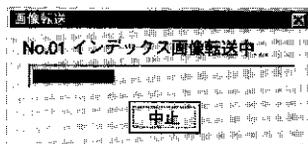
4. 「画像データを転送しますか? はい/いいえ」とメッセージを表示するので「はい」をクリックします。パソコンに画像 (640×480ドット) データが転送されます。

- 逐次転送を設定している時に転送ボタンを使用することはできません。

5. パソコンに [設定] - [画像形式] で設定してあるデータ形式でパソコンに画像データを転送します。

- データ転送中は「No.01画像データ転送中…」とメッセージを表示します。

6. 必要に応じて2~5を繰り返します。



基本操作編

メモ

インデックス画像/画像データは、緑の枠で囲まれている画像ボックスに転送します。画像ボックスをクリックして選択してください。



画像取り込み/転送 (つづき)

自動転送について

JLIP対応のビデオ機器が接続されている場合のみ自動転送をすることができます。自動転送には、プログラム、インターバルの2種類の方法があります。どちらの方法も最初の設定または転送画像を決めてしまえばあとは自動的に画像データを取り込むので、時間を有効につかえます。

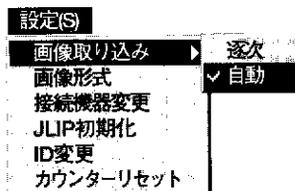
プログラムキャプチャーについて

プログラムキャプチャーは、転送したい画像を選択してから、自動的にパソコンに画像を転送します。

準備

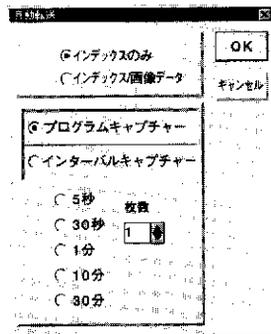
- ・ page 16~19の接続をします。
- ・ 転送したい画像のテープをビデオ機器に入れます。
- ・ [設定] — [画像形式] をクリックして設定します。
(page 30, page 38~39参照)

1. メニューバーから [設定] — [画像取り込み] — [自動] をクリックします。
 - ・ [自動転送] 設定画面を表示します。



2. 転送するデータを選択します。
 - ・ 「インデックス画像のみ」を選択すると、80×60ドットの画像データをパソコンに送ります。
 - ・ 「インデックス画像データ」を選択するとインデックス画像 (80×60ドット) と画像 (640×480ドット) の両方のデータをパソコンに送ります。

3. 「プログラムキャプチャー」を選択しOKをクリックします。



4. [ウィンドウ] — [VTR操作] をクリックしてVTR操作画面を表示します。

5. VTR操作画面で映像機器を操作し、お好みの画面で[取り込み] ボタンをクリックします。

6. [取り込み] ボタンをクリックすると、パソコンにインデックス画像(80×60ドット)データを転送します。

- ・データ転送中は、「No.1インデックス画像転送中…」とメッセージを表示します。

7. お好みの枚数を取り込むまで5～6を繰り返します。

8. [転送] ボタンをクリックする。

- ・手順2で「インデックス画像のみ」を選択してインデックス画像を取り込んだあと、画像データ(640×480ドット)を取り込みたい時は、「インデックス/画像データ」を選択してから[転送] ボタンをクリックしてください。

1. 「画像No.1スキャン中…」とメッセージを表示し、映像機器の頭出しをします。
2. 「No.1インデックス画像転送中…」とメッセージを表示後、続いて「No.1画像データ転送中…」のメッセージを表示し、パソコンに画像データを転送します。
3. 手順7で取り込んだ枚数の画像を、映像機器を頭出ししながら自動的にパソコンに転送します。



メモ

画像を転送するときは事前にパソコンのハードディスクの空き容量を確認してから、おこなってください。画像データ量についてはpage 32をご確認ください。

メモ

プログラムキャプチャーは、必ずNo.1から取り込み直します。



画像取り込み/転送 (つづき)

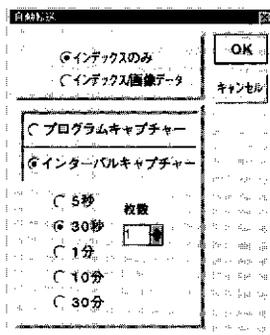
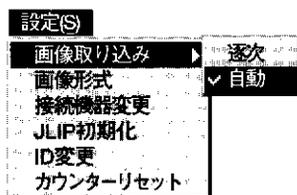
インターバルキャプチャーについて

インターバルキャプチャーは、JLIP対応のビデオ機器に記録されている映像を一定時間間隔で取り込みたいときにお使いください。

準備

- ・ page 16～19の接続をします。
- ・ 転送したい画像のテープをビデオ機器に入れます。
- ・ [設定] — [画像形式] をクリックして設定します。
(page 30, page 38～39参照)

1. メニューバーから [設定] — [画像取り込み] — [自動] をクリックします。
 - ・ [自動転送] 設定画面を表示します。
2. 転送するデータを選択します。
 - ・ 「インデックスのみ」を選択すると、80×60ドットのインデックス画像データをパソコンに送ります。
 - ・ 「インデックス/画像データ」を選択するとインデックス画像 (80×60ドット) と画像 (640×480ドット) の両方のデータをパソコンに送ります。
3. 「インターバルキャプチャー」を選択します。
4. インターバル時間を設定します。
 - ・ 画像を取り込む間隔を選択します。
5. 転送枚数を設定します。
 - ・ 99枚まで設定できます。



6. [ウインドウ] - [VTR操作] をクリックしてVTR操作画面を表示させます。
お好みの画面より少し前から再生します。

7. VTR操作画面で映像機器を操作してお好みの画面で[転送] ボタンをクリックします。

1. 「No.01インデックス画像転送中…」とメッセージを表示し、インデックス画像をパソコンに転送します。
2. 手順2で「インデックス/画像データ」を選択している場合は、「No.01画像データ転送中…」とメッセージを表示し、画像データをパソコンに転送します。
3. 「画像No.02スキャン中…」とメッセージを表示し、手順4で設定した間隔分を早送り再生して映像機器の頭出しをします。
 - ・ [転送] をクリックしたところから画像を取り込み、その後4で設定した時間間隔のカウンターの位置で画像を転送します。
 - ・ 転送が終了すると、映像機器は一時停止になります。



画像を転送するときは事前にパソコンのハードディスクの空き容量を確認してからおこなってください。画像データの量については page 32 をご確認ください。
インデックス画像/画像データの転送は、緑の枠で囲まれている画像ボックスから始めます。
画像ボックスをクリックして選択してください。

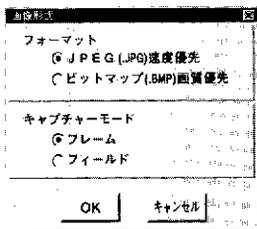
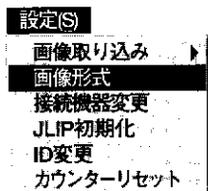


画像形式の設定

画像形式を設定する

画像形式の設定では、転送する画像データのフォーマットとキャプチャーモードの2つの設定をおこないます。

1. メニューバーから「設定」－「画像形式」をクリックします。
 - ・「画像形式」設定画面を表示します。
2. フォーマットを選択します。
 - ・「JPEG(.JPG)速度優先」を選択すると、画像データを圧縮して転送します。転送時間は短くなります。
 - ・「ビットマップ(.BMP)画質優先」を選択すると転送時間はかかりますが、データ圧縮による画質の劣化はありません。
 - ・フォーマットに関して、くわしくは右ページをご覧ください。
3. キャプチャーモードを選択します。
 - ・「フレーム」は静止画から画像を取り込むのに最適です。
 - ・「フィールド」は動画から画像を取り込むのに最適です。
 - ・キャプチャーモードに関して、くわしくは右ページをご覧ください。
4. <OK>をクリックします。
 - ・これで画像形式の設定は完了しました。
 - ・この設定は次の取り込みから有効になります。



画像データのフォーマットについて

転送する画像データのフォーマットには2種類あります。

●JPEG（速度優先）

- ・画像形式を設定しないで画像取り込み／転送をおこなうと、このフォーマットで取り込まれます。
- ・JPEG（Joint Photographic Expert Group）とはカラー静止画像の圧縮、展開を決めた規格です。
- ・画像データを圧縮して転送するために、転送データが少なくなり、転送時間が短くなります。

●ビットマップ（画質優先）

- ・画像データを圧縮しないで転送するので転送時間はかかりますが、データ圧縮による画質の劣化はありません。
- ・ビットマップとはドットの組合わせで文字や図形を表現するデータです。

メモ

画像データは、解像度640×480ドット、1677万色（24bitカラー）のデータです。インデックス画像は80×60ドット、1677万色（24bitカラー）のデータです。

キャプチャーモードについて

●フレーム

- ・画像形式を設定しないで画像取り込みをおこなうと、このモードで取り込まれます。
- ・フレームとは1/60秒の映像（1フィールド）を2枚重ねた映像のために動きの速い動画から画像を取り込んだ場合はブレてしまいます。

●フィールド

- ・フレームに比べて垂直方向の解像度が半分になります。動きの速い動画から画像を取り込んだ場合は、フレームよりブレが少なくなります。



画像の保存

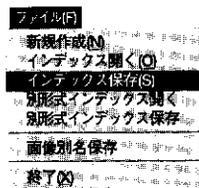
保存する

3種類のファイルの保存ができます。インデックス保存と別形式インデックス保存、そして画像別名保存です。

インデックス保存について

画像表示エリアに表示している内容 (page 27) を保存するときに選択します。

1. メニューバーから [ファイル] - [インデックス保存] をクリックします。
 - ・ [インデックス保存] 画面を表示します。
2. フォルダ名と、タイトルを入力します。
 - ・ タイトルは入力しなくても保存することができます。
3. <OK>をクリックします。
 - ・ これでインデックス画像の保存は完了しました。



フォルダ名を フォルダ名を タイトル名を
指定します。 入力します。 入力します。



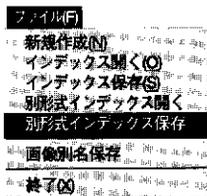
ドライブを指定します。



別形式インデックス保存について

付属されているJLIPムービープレイヤーソフトのファイルに変換して保存します。

JLIPムービープレイヤーソフトとデータを共有することができます。(page 47)

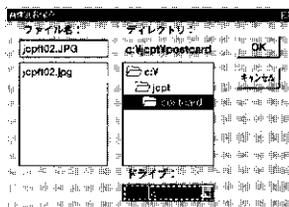
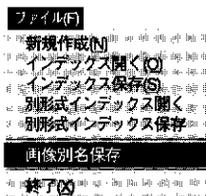


画像別名保存について

画像データを他のフォルダに保存し、市販のアプリケーションで利用することができます。

画像データ（640×480ドット）の転送をおこなってから、おこなってください。

1. 保存したいインデックス番号の画像表示ボックスをクリックします。
 - ・画像表示ボックスは、緑の枠で囲まれます。
2. メニューバーから [ファイル] - [画像別名保存] をクリックします。
 - ・ [画像別名保存] 画面を表示します。
3. 選択表示部で指定のフォルダ名（ディレクトリ名）を選択し、ファイル名を入力します。
 - ・データをフロッピーディスクに保存する場合は、ドライブ名も指定します。
4. <OK>をクリックします。



画像のファイル名について

下記のファイル名は使用できないので、ご注意ください。

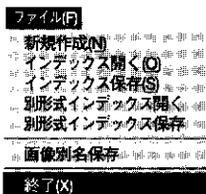
インデックス画像ファイル名：JCPTN××.BMP ××=01～99

フル画像ファイル名：JCPFS××.BMP(または.JPG) ××=01～99

終了する

画像データが保存されていない状態で終了しようとする時、「インデックスが保存されていません。保存しますか?」というメッセージを表示します。

1. メニューバーから [ファイル] - [終了] をクリックします。
 - ・プログラムが終了します



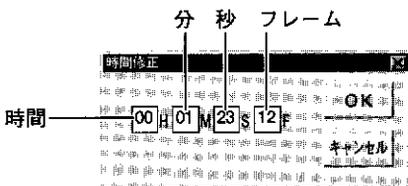


応用操作

カウンター値の変更

取り込まれた画像を変更したいときは、カウンター値を変更して再度取り込むことができます。

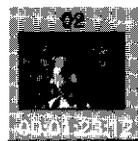
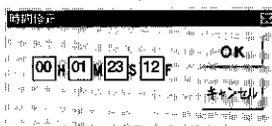
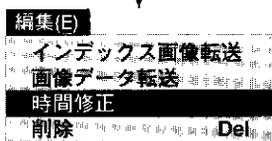
1. 変更したいインデックス番号の画像表示ボックスをクリックします。
 - ・画像表示ボックスが緑色の枠で囲まれます。
2. メニューバーから [編集] - [時間修正] をクリックします。
 - ・ [時間修正] 画面を表示します。
3. 希望のカウンター値を入力します。



4. <OK> をクリックします。
 - ・インデックス画像の周りに変更マーク (斜線) が付きます。
 - ・カウンターの値が修正した値に変わります。
5. メニューバーから [設定] - [画像取り込み] - [自動] をクリックし、[プログラムキャプチャー] を選択します。
6. 映像機器を再生し、[編集] - [インデックス画像転送] をクリックします。
 - ・カウンターの値のインデックス画像が取り込まれます。
7. つづいて [編集] - [画像転送] をクリックする
 - ・カウンターの値の画像が転送されます。



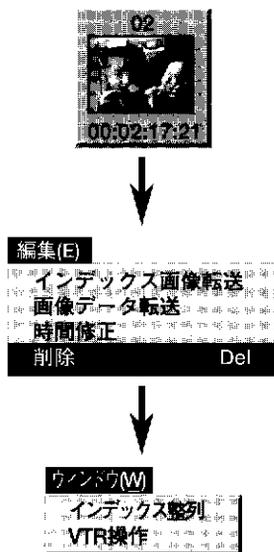
手順4の状態では保存して終了すると、再度立ち上げた時に変更マーク (斜線) は有りません。ご注意ください。



インデックス画像の削除

取り込み／転送された画像を削除することができます。削除すると、インデックス画像（80×60ドット）および画像（640×480ドット）が読み込まれている場合は、読み込まれている画像も削除されます。

1. 削除したいインデックス番号の画像表示ボックスをクリックします。
 - ・画像表示ボックスが緑色の枠で囲まれます。
2. メニューバーから [編集] - [削除] をクリックします。
 - ・希望番号のインデックスを削除します。
3. メニューバーから [ウィンドウ] - [インデックス整列] をクリックします。
 - ・削除したインデックスの部分を詰めて番号を付け直します。ただし、インデックス整列をおこなわない状態のまま使用することもできます。



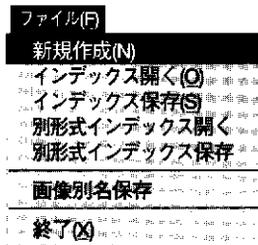


応用操作(つづき)

新規に作成する

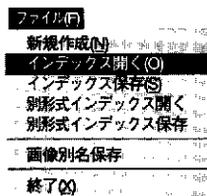
別のビデオテープから画像を取り込むためには表示中のインデックスを消去して、新しいインデックスを作成したい時に使います。

1. メニューバーから [ファイル] - [新規作成] をクリックします。
 - ・ 画像表示エリアは新規になります。
 - ・ もし表示中のインデックス画像データが保存されていない場合は、保存するのかどうかメッセージが出ます。



インデックスを開く

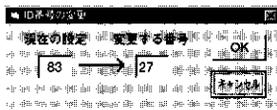
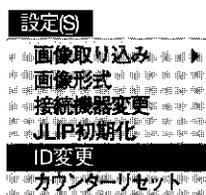
1. メニューバーから [ファイル] - [インデックス開く] をクリックします。
 - ・ インデックスを開く画面を表示します。
2. フォルダ名 (ディレクトリ) などを選択します。
3. <OK> をクリックします。



ID変更

本機のIDナンバーを変更することができます。

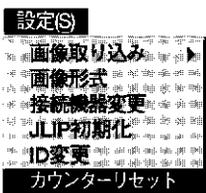
1. メニューバーから [設定] — [ID変更] をクリックします。
 - ・設定メニューのIDナンバー変更ウインドウを表示します。
2. 変更するIDナンバーを入力します。
 - ・設定メニューのIDナンバーの変更を表示します。
3. <OK>をクリックします。
 - ・IDナンバーの変更が完了しました。



カウンターのリセット

接続しているビデオ機器 (VHS, VHS-C) のカウンターのリセットをすることができます。テープを巻き戻し、テープの初めてカウンターをリセットしてからご使用ください。

1. メインメニューから [設定] — [カウンターリセット] をクリックします。
 - ・VTRのカウンターをリセットします。
 - ・デジタルビデオムービーはリセットできません。(1996年12月現在のモデルは、GR-DV1, GR-DVM1です。)



メモ

カウンターをリセットすると、インデックスの画像表示ボックス下のカウンター値と画像が一致しなくなりますので、注意ください。



J-LIPムービープレイヤーソフトについて

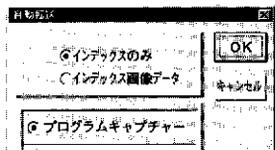
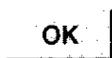
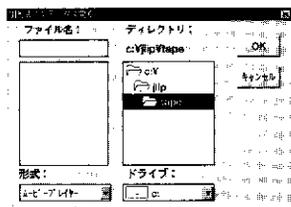
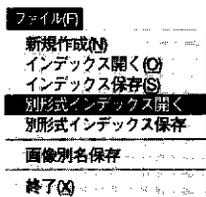
JLIPプレイヤーソフトの保存データを使うには

本機はJLIPプレイヤーソフトの保存データのイン点のカウンターを利用して、画像を取り込むことができます。

準備

- ・ page 14～page 17の接続をします。
- ・ プレイヤーソフトでプログラム編集をおこなったテープをビデオ機器に入れます。
- ・ データがフロッピーディスクに入っている場合は、フロッピーディスクドライブにデータディスクを入れてください。

1. メニューバーから [ファイル] - [別形式インデックス開く] をクリックします。
 - ・ [別形式インデックスを開く] 画面を表示します。
2. 選択表示部で指定のフォルダ名 (ディレクトリ名) をダブルクリックして選択します。
 - ・ データがフロッピーディスクの場合はドライブ名も指定します。
3. ファイル名をクリックして選択します。
4. <OK> をクリックします。
 - ・ パソコン画面には。シーンNo.とイン点のカウンター番号、空白の画像ボックスを表示します。
5. メニューバーから [設定] - [画像取り込み] - [自動] をクリックします。
6. 転送するデータと「プログラムキャプチャー」を選択して<OK>をクリックします。
7. [転送] ボタンをクリックします。
 - ・ ビデオ機器を頭出ししながら自動的に画像データをパソコンに転送します。



JLIPプレイヤーソフト用にデータを保存する

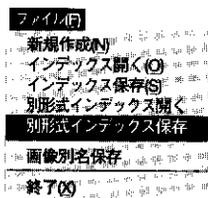
本機のデータインデックスNo.とカウンター値のみをJLIPプレイヤーソフト用のデータに変換して保存することができます。

インデックス画像及び画像データの保存はできません。

準備

- ・ page 14～page 17の接続をします。
- ・ データをフロッピーディスクに保存したい場合は、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクを入れてください。
- ・ データディスクにあらかじめ作成するディレクトリやサブディレクトリについてはJLIPムービープレイヤーソフト取扱説明書の page 18をご覧ください。

1. メニューバーから [ファイル] → [別形式インデックス保存] をクリックします。
 - ・ [別形式インデックス保存] 画面を表示します。
2. 選択表示部で指定のフォルダ名 (ディレクトリ名) を選択し、ファイル名を入力します。
 - ・ データをフロッピーディスクに保存する場合はドライブ名も指定します。
3. <OK> をクリックします。
 - ・ 指定したドライブにJLIPプレイヤーソフト用にデータを変換して保存します。
 - ・ このデータは付属のJLIPプレイヤーソフトを使用してビデオのプログラム編集や、ビデオプリンターで出力したりできます。JLIPプレイヤーソフトの取扱説明書をご覧ください。



メモ

インデックス画像データを、JLIPムービープレイヤーソフトのファイルに変換して保存すると、インデックス画像を別売のビデオプリンターGV-PT1/GV-PT2でプリントすることができます。操作方法については、別冊のJLIPムービープレイヤー取扱説明書をご覧ください。

応用操作編

メモ

保存したデータをJLIPムービープレイヤーソフトで開くと、イン点とアウト点は同じカウンター値になります。プログラム編集をする時は、アウト点のカウンター値を、JLIPムービープレイヤーソフトの【プログラム修正】画面で変更してください。

こんな使い方もできます

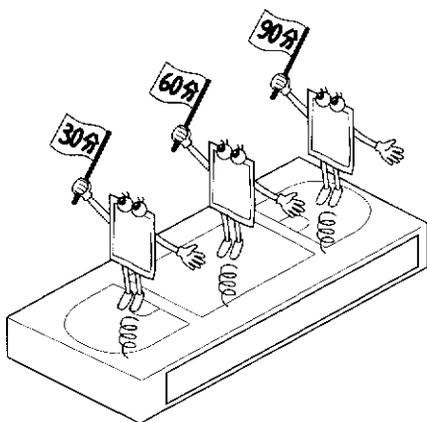
ビデオテープのタイトルインデックスに

インターバルキャプチャーを利用すると、たとえば、ドラマや映画の30分、1時間、1時間半・・・のタイトル頭出し画像をキャプチャーできます。パソコンのプリントスクリーン機能を使って、タイトル頭出しの画像をお手持ちのパソコンと接続されたプリンターでプリントしてビデオカセットに貼ると、テープの管理に最適です。

Windows®の基本機能のPrintScreenでインデックス画面を表示している状態をペイント系アプリケーションなどの【編集】—【貼りつけ】で貼り付けることができます。Print Screenの操作については機種によって操作するパソコンのキーボードのボタンが異なります。

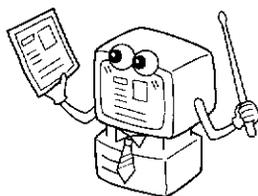
くわしい取り扱いについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。

例) ・DOS/V系 PrintScreenボタン
・PC98系 COPYボタン



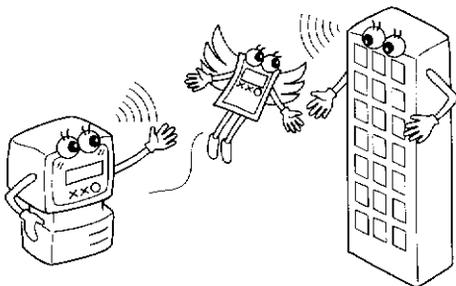
ビジネスプレゼンテーション用の画像に

ビデオテープからキャプチャーした内容を【ファイル】—【画像別名保存】を開いて保存すると、ワープロや、プレゼンテーション用のソフトの画像データとしてご利用いただけます。



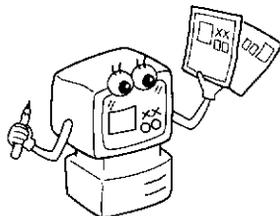
インターネットのホームページ画像に

ビデオテープからキャプチャーした内容を【ファイル】—【画像別名保存】を開いて保存すると、お手持ちのペイントソフトを利用して、インターネットのホームページに貼り付けることができます。



ビデオ絵日記や葉書に

ビデオテープからキャプチャーした内容を【ファイル】—【画像別名保存】を開いて保存すると、お手持ちのペイントソフトを利用して、楽しいビデオ絵日記や、パーティーの招待状、葉書などにもご利用いただけます。



こんなときは

メモ

本機（JLIPビデオキャプチャーボックスGV-CB1/JLIPビデオキャプチャー DockingステーションGV-CB2）は、マイコンを使用しています。雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。そんな時は本機の電源を一度切り、改めてご使用ください。

内 容	処 置	参照ページ
<p>入力画/メモリー画のボタンをクリックしても切り替わらない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 画像転送中または画像圧縮中は切り替えできません。しばらくおまちください。 ● JLIPビデオキャプチャーボックスGV-CB1をご使用になっている場合、映像は接続しているテレビに映ります。 JLIPビデオキャプチャー DockingステーションGV-CB2をご使用になっている場合、映像は取り付けているGR-DVM1の液晶画面に映ります。パソコン上で映像を確認することはできません。 	-
<p>接続しているテレビに映像機器の映像が映らない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● JLIPビデオキャプチャー DockingステーションGV-CB2のキャプチャー外部入力/プリンター端子に映像機器を接続している場合、映像機器の映像はGR-DVM1の液晶画面に映ります。 接続しているテレビには、GR-DVM1の映像が映ります。 	15
<p>メインメニューの「ウィンドウ」-「VTR操作」をクリックして「VTR操作」画面のボタンをクリックしても映像機器が動作しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● [VTR操作] 画面のカウンター表示が青くなるまたは、表示しない ● ご使用の映像機器はJLIP対応の映像機器ですか？ JLIP対応の映像機器のみ操作可能です。 JLIP対応の映像機器をご使用で操作できない場合は、正しく接続されているかご確認ください。 ● 「機器の選択」でビデオ機器が選択されていますか？ 選択しなおしてください。 ● JLIP初期化をおこなってください。 ● 映像機器の電源をお確かめください。 	31 14~17 24

初期設定
映像機器
映像機器
映像機器

その他

次ページへつづく

こんなときは (つづき)

内 容	処 置	参照 ページ
<p>[VTR操作] 画面で逆方向スロー再生と正方向スロー再生ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●スロー再生機能を持つ映像機器（1996年12月現在の対応モデルは、GR-DV1, GR-DVM1, HR-X7だけです）のみ操作可能です。 	31
<p>[VTR操作] 画面で映像機器の電源入/切ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●GR-AX150, GR-880の電源を入/切をすることはできません。 	-
<p>[VTR操作] 画面と映像機器の動きが違う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●スロー再生表示は、20秒間で自動的に再生表示に変わります。 ●スロー再生機能を持つ映像機器でスロー再生をおこなった時、[VTR操作] 画面の表示がスロー再生表示から再生に変わっても、映像機器はスロー再生を続ける機器があります。 <p>くわしくは、お使いの映像機器の取扱説明書をお読みください。</p>	31
<p>映像機器のオンスクリーン表示が記録される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●オンスクリーン表示のある映像機器をお使いの場合、お使いの機器の取扱説明書をご覧になり、オンスクリーン表示を消してください。 	-
<p>映像機器にテープが入っていないのに、画像表示ボックスにカウンターが表示される</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●映像機器にテープを入れずに電源を撮影側にして画像取り込みをおこなったときに、画像ボックスにカウンターを表示することがあります。このカウンターを使って取り込んだ画像と同じ画像を取り込むことはできません。 	-
<p>希望のカウンター値で画像を取り込むことができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ご使用の映像機器がデジタルビデオムービーではない場合、希望のカウンター値から、ズレることがありますが、故障ではありません。 	34~37
<p>カウンターリセットができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタルビデオムービーをご使用の場合はカウンターリセットはできません。 	-

内 容	処 置	参照 ページ
プログラム取り込みが、急に終了してしまいました	<ul style="list-style-type: none"> ● テープの初めの方でプログラム取り込みをおこなうと、映像機器は再生を停止し、画像取り込みは終了します。テープの映像が記録したあるところから、約20秒ほど経過したところから、画像取り込みをおこなってください。 	34
プログラム取り込みの画像が設定した画像とちがう	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタルビデオムービー以外のモデルでは、正確に頭出しできません。正確におこなうには、逐次取り込みでおこなってください。 	34
ビデオキャプチャー終了後、フォルダーJCPT（プログラム実行ファイルのあるフォルダー）に画像ファイルが残ってしまう	<ul style="list-style-type: none"> ● ハードディスクの容量が少ない等の理由により消したい場合には、一度、プログラムをスタートしてその後終了してください。フォルダーJCPTに残った画像はクリアされます。 	-
JLIP初期化ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● IRQ（Interrupt ReQuest）が他の機器と重複していないか確認してください。 ● COMポートの選択がまちがっています。COMポートの番号を確認してから、再度JLIP初期化をおこなってください。 	25
自動転送で画像取り込み／転送をおこなったときに、取り込んだ画像が2枚の縞を重ねたようになってしま	<ul style="list-style-type: none"> ● このような場合「フレーム」設定で画像を取り込むことはできません。「フィールド」設定に変更し、再度画像取り込みをおこなってください。 	38

本文中のアプリケーションソフトの画面表示などのイラストは、お使いのパソコンの動作環境などにより異なる場合があります。

推奨の動作環境（page 4）以外でご使用になると、動作が著しく遅くなります。またビデオの基本操作（再生、早送り等）はご使用になれますが、一部機種において、画像転送時に「通信エラー」が発生することがあります。このようなときは、ソフトを再起動し、キャプチャー機器本体の電源を切り、再度入れてください。

このソフトは、
著作権フリーの
音楽を使用し、
一部商標は、
権利者に
お問い合わせください。

その他

エラーメッセージ一覧表

メッセージ内容	<ul style="list-style-type: none"> ●このようなときに表示されます ■このように処置します 	参照ページ
COMがオープンできません	<ul style="list-style-type: none"> ●COMポートの選択が間違っています。 ■COMポートの番号を確認してから、再度JLIPの初期設定をおこなってください。 	25
接続されている機器が見つかりませんでした	<ul style="list-style-type: none"> ●接続機器の電源が入っていません。選択したCOMポートに正しく接続していません。 ■接続を正しくして、初期化設定をおこなってください。接続を確認後本機及び接続機器の電源を入れてください。 	24~25 16~19
バッテリーが不足します。転送を中止しますか？ (はい/いいえ) [GV-CB1: JLIPビデオキャプチャーボックスのみ]	<ul style="list-style-type: none"> ●JLIPビデオキャプチャーボックス [GV-CB1] のバッテリーが不足しています。 ■はい----転送が中止になりますので、プログラムを終了させてから、すべての電源を切り乾電池を新しいものと交換してください。 いいえ---転送がすぐ終わってしまうようなときはこちらを選んでから、乾電池を交換します。正しくデータ送られていない可能性がありますので、電池交換後データを確認してください。 	14
異常終了しました	<ul style="list-style-type: none"> ●自動キャプチャー中に映像機器がSTOPまたは再生を終了した場合表示されます。 ■自動キャプチャーの設定を確認してください。 ●テープの初めの方でプログラム取り込みをおこなうと、画像データ (640×480ドット) を取り込むことができません。映像機器は再生を停止し、画像取り込みは終了します。 ■テープの映像が記録してあるところから、約20秒ほど経過したところから、画像取り込みをおこなってください。 ●インターバル取り込みで設定した画像を取り込む枚数分よりも、ビデオテープが短いか、テープの途中に無記録部分があったときに表示されます。 ■OKボタンをクリックしてから、テープの長さをよく確認して枚数を入力してください。また途中に無記録 (何も信号が書き込まれていない) 部分のないテープを使用してください。 	-

メッセージ内容	<ul style="list-style-type: none"> ●このように表示されます ■このように処置します 	参照ページ
VTRを再生してから実行してください	<ul style="list-style-type: none"> ●インターバル取り込み時に映像機器が再生になっていません。 ■OKボタンをクリックしてから、映像機器を再生モードにしてから再度 [転送] ボタンをクリックしてください。 	36~37
ディスク容量が不足しています	<ul style="list-style-type: none"> ●残りのディスク容量が1MB以下になると表示されます。 ■OKボタンをクリックしてから、ディスク容量を確認して、画像別名保存で空いているドライブを指定して転送します。 	-
通信エラーです	<ul style="list-style-type: none"> ●このメッセージのあと動作しなくなった場合は、本機（JLIPビデオキャプチャーボックス/JLIPビデオキャプチャードッキングステーション）の電源を一度切り、改めてご使用ください。画像メモリーに記憶した映像は失われます。 ●他のアプリケーションと併用して使わないでください。正常に動かない場合があります。また転送中にウィンドウをクリックしたりマウスを動かさないでください。 ●お使いのパソコンでパワーマネジメントやバッテリー電圧表示機能、スクリーンセーバーが有効になっていると、画像転送が中断される場合があります。 ■これらの機能を無効にしてください。くわしくはお使いのパソコンの説明書をご覧ください。 	-
キャプチャー機器を確認してください	<ul style="list-style-type: none"> ●このメッセージのあと動作しなくなった場合は、本機（JLIPビデオキャプチャーボックス/JLIPビデオキャプチャードッキングステーション）の電源を一度切り、改めてJLIP初期化を再度行なってください。画像メモリーに記憶した映像は失われます。 	-

メモ

一部のノートパソコンでは、初期設定がRS-232C端子をシリアルポートとして使用できない設定になっているものや、省電力のために電力を供給しない設定になっているものがあります。このような場合は、パソコンの説明書に従ってRS-232C端子をシリアルポートとして使用できるように、設定（またはBIOS変更）してください。



JLIPビデオキャプチャードッキングステーションキット (CU-V20KIT)

ビデオキャプチャードッキングステーション (GV-CB2)

接続端子

S映像 出力 Y : 1.0 Vp-p 75Ω
(S2出力) C : 0.29 Vp-p 75Ω

映像 入力 1.0 Vp-p 75Ω (ピンジャック)
(キャプチャー外部入力/プリンター端子)
出力 1.0Vp-p 75Ω (ピンジャック)
(映像出力端子)

音声 出力 -8dBs 1KΩ (ピンジャック)

JLIP (×2) Φ3.5mm 4極 小型単頭ジャック
(EIAJ RC-5325プラグに適合)

デジタル ミニDIN 8ピン

マルチ端子 34ピン

編集端子 Φ3.5 2極

DC出力 DC 5V

キャプチャー画像サイズ : 640×480ドット、80×60ドット

許容動作温度 : 5~30℃

外形寸法 : 幅113×高さ61×奥行き145 mm

質量 : 約 395g

電源入力 : DC 6.3V (別売AA-V80使用)

リモコン (RM-V708)

機種	リモートコントロールユニット
電源	DC3V (ボタン電池 CR2025)
電池寿命	約1年 (使用頻度によりかわります。)
動作距離	約5m (正面軸上)
許容動作温度	0℃~40℃
保存温度	-20℃~50℃
外形寸法	幅54×高さ86×奥行き12mm
質量	約26g (ボタン電池含む)

●本機の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

この
説明書
は、
この
製品
に
対
し
て
の
説
明
書
と
し
て
使
用
さ
れ
て
い
ま
す。

そ
の
他

索引

あ

インストール	20
インターバルキャプチャー	36
インターバル取り込み	36
インデックスを開く	44
インデックス画像	27, 32
インデックス画像の削除	29, 43
インデックス整列	31, 43
インデックス保存	28, 40
ウィンドウメニュー	31

か

カウンター値の変更	29, 42
カウンターリセット	30, 45
画像形式	30, 38
画像データ	27, 32
画像取り込みについて	32~37
画像ファイルについて	29, 41
画像別名保存	29, 41
機器選択	25, 30
起動のしかた	22
キャプチャーモード	30, 38, 39

さ

自動取り込み	34
終了	23, 41
初期設定	24
新規作成	44
設定メニュー	30

た

逐次取り込み	32
デスクトップ画面	26~31
転送速度	24

な

入力画ボタン	26
--------	----

は

ビットマップ	39
ファイルメニュー	28, 29
フィールド	38, 39
フレーム	38, 39
プログラムキャプチャー	30, 34
プログラム取り込み	34
別形式インデックスを開く	28, 46
別形式インデックス保存	28, 47
ヘルプメニュー	31
編集メニュー	29

ま

メイン画面	26
メニューバー	27~31
メモリー画ボタン	26

アルファベット

COMポート	24
ID変更	30, 45
IRQ	50
JLIP初期化	24
JPEG	39
VTR操作画面	31

保証とアフターサービス

ソフトウェアの扱いにつきましては、ソフトウェア製品使用許諾契約書に従います。

保証書（別途添付しています）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」(page 54～page 55)にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

page 49～page 53に従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびこのビデオキャプチャーソフトなどの不具合により、正常に画像を取り込めなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

ご連絡していただきたい内容

品名	JLIPビデオキャプチャーボックス または JLIPビデオキャプチャー ドッキングステーションキット
シリアルナンバー	ここに貼ってください。
型名	GV-CB1 または CU-V20KIT
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	() -

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

愛情点検 ●長年ご使用の機器の点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 映像が乱れたり、きれいに映らない。
- 電源プラグ、コードが異常に熱い。
- 異常な臭いや音がかかる。
- 水や異物が入った。
- その他の異常な気味がある。



ご使用を
中止

故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

その他

サービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	番	所在地
北海道地区				
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	004	札幌市厚別区厚別第5条1丁目2-29
	苫小牧 S.S.	(0144)34-6682	093	苫小牧市緑町2-7-11
	室蘭 S.S.	(0143)44-8168	050	室蘭市宮の森町3丁目13-13
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	070	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	090	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.C.	(0154)24-0797	085	釧路市若竹町6-13
北海道	帯広 S.S.	(0155)24-4493	080	帯広市東六条南12-11
	函館 S.S.	(0138)46-5324	041	函館市美原3-16-25
東北地区				
青森	青森 S.C.	(0177)23-2261	030	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	031	八戸市青葉2-21-2
	弘前 S.S.	(0172)28-0185	036	弘前市奉田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(0196)37-0121	020	盛岡市寿志田12地割新田24番地1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	023	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(0188)24-3189	010	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	017	大館市美園町1-6
秋田	横手 S.S.	(0182)32-8873	013	横手市赤坂字大道南3-6
	仙台 S.C.	(022)287-0151	984	仙台市若林区天丁の目西町7-13
宮城	大崎 S.S.	(0225)94-7711	988	石巻市門脇字四番谷地8-18
	石巻 S.S.	(0236)42-0279	990	山形市松山3-12-18
山形	酒田 S.C.	(0234)26-7145	998	酒田市亀ヶ崎6-6-1
	山形 S.S.	(0249)52-6331	963	郡山市堤1-3
福島	郡山 S.C.	(0246)28-4991	970	いわき市門前区天丁の目西町7-13
	会津若松 S.S.	(0242)32-0247	965	会津若松市滝沢町1-5
福島	福島 S.S.	(0245)53-9437	960-0	福島市本内字南原26-1
信越地区				
新潟	新潟 S.C.	(025)241-0527	950	新潟市明石1-2-19
	佐渡 S.S.	(0259)57-3127	952	佐渡郡佐和田町河原田本町93
	長岡 S.C.	(0258)24-1462	940	長岡市下下条2-1366-1
	上越 S.S.	(0255)44-9987	942	上越市五智1-11
長野	松本 S.C.	(0263)23-8353	390	松本市鎌田2-3-50
	長野 S.S.	(0262)21-9946	380	長野市川合新田962-1
長野	上田 S.S.	(0268)23-3589	386	上田市吉里79-1
関東地区				
群馬	前橋 S.C.	(0272)55-5920	371	前橋市大渡町1-21-1
	宇都宮 S.C.	(028)635-2656	320	宇都宮市住吉町17-9
茨城	水戸 S.C.	(0292)46-1531	310	水戸市元吉田町1077
	土浦 S.C.	(0298)22-5946	300	土浦市真綱6-1-25
山梨	甲府 S.S.	(0552)37-3136	400	甲府市薄田2-11-5
	千原 S.C.	(043)247-4551	261	千原市美浜区幸町2-1-1
千葉	千葉 S.S.	(0438)36-6413	292	千葉市若葉3-4-9
	柏 S.C.	(0471)75-4321	277	柏市豊四季5-12-10-67
	浦安 S.S.	(0473)53-6189	279	浦安市当代島2-13-27

都府県名	拠点名	TEL	番	所在地	
東京地区					
【出張修理専門】のご相談窓口					
東京	首都サービスセンター	(03)5803-2888	113	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F	
	【お預かり修理、補修用品】のご相談窓口				
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	113	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F	
	秋葉原 S.S.	(03)3251-2128	101	東京都千代田区外神田1-6-6	
	練馬 S.C.	(03)3993-7520	176	東京都練馬区豊玉南1-19-1	
	大塚 S.C.	(03)3727-9385	145	東京都大田区北千束2-20-6	
	浦安 S.S.	(0473)53-6189	279	浦安市当代島2-13-27	
	八王子 S.C.	(0426)46-6914	182	東京都八王子市大和田町1-11-24	
【業務用機器専門】のご相談窓口					
東京業務センター	(03)3874-5231	110	東京都台東区根岸5-4-3		
埼玉地区					
【出張修理専門】のご相談窓口					
埼玉	首都サービスセンター	(03)5803-2888	113	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F	
	【お預かり修理、補修用品】のご相談窓口				
	大宮 S.C.	(048)654-5241	330	大宮市東大成町2-658-1	
	熊谷 S.S.	(0485)53-6105	361	行田市城西2-739ツインハイツ石山田	
川越 S.S.	(0492)42-4496	350	川越市小室491-1		
神奈川地区					
【出張修理専門】のご相談窓口					
神奈川	首都サービスセンター	(03)5803-2888	113	東京都文京区本郷3-147ビクター本郷ビル4F	
	【お預かり修理、補修用品】のご相談窓口				
	川崎 S.C.	(044)975-1879	216	川崎市宮前区南戸倉3-2(兼2石原ビル)	
	横浜 S.C.	(045)651-0403	231	横浜市中区寿町1-3-1	
相模原 S.C.	(042)76-2052	229	相模原市古淵3-7-4		
【サービス関連全て】のご相談窓口					
神奈川	横浜須賀 S.S.	(0468)34-9161	239	横浜須賀市久里浜6-4-1	
	平塚 S.S.	(0463)23-2668	254	平塚市老松町4-9(大村ビル)	
神奈川	小田原 S.S.	(0465)24-0657	250	小田原市浜町4-1-12	
静岡地区					
静岡	静岡 S.C.	(054)282-4141	422	静岡市紺金6-5-28	
	岡崎 S.S.	(0559)22-1557	410	沼津市廣井町6-5	
	浜松 S.S.	(053)421-3441	435	浜松市北島町785	
東海・北陸地区					
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	481	西春日井郡西春町九ノ坪鶴田121-1	
	三河 S.S.	(0564)26-1006	444	岡崎市井ノ口町字原西31	
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	440	豊橋市佐藤町字山崎56-2	
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	500	岐阜市宇佐南3-1-28	
三重	三重 S.S.	(0593)52-0841	510	西日市市堀本2-15-2	
	津 S.S.	(0592)29-7780	514	津市大字半田603-1半田事務所1F	
富山	富山 S.C.	(0764)25-2937	930	富山市総曲輪4-3-5	
石川	金沢 S.C.	(0762)31-5242	920	金沢市長土堀2-1-27	
福井	福井 S.S.	(0776)53-6916	910	福井市西開発3-211	

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

0996

都府県名	拠点名	TEL	所在地
近畿地区			
滋賀	【サービス関連全て】のご相談窓口		
	滋 賀 S.S. (0775)82-5812	524	守山市浮気町288
	【出張修理専門】のご相談窓口		
京 都 南 部	大 阪 S.C. (06)304-5731	532	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
京 都 北 部	京 都 S.C. (075)313-3189	600	京都市下京区七条御所の内北町91
	【サービス関連全て】のご相談窓口		
	福 知 山 S.S. (0773)22-8664	620	福知山市厚東町145-2
	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大 阪 S.C. (06)304-5731	532	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
奈 良	大 阪 S.C. (06)304-5731	532	大阪市淀川区田川2-4-28
	大 阪 南 S.S. (06)768-5489	543	大阪市天王寺区小橋町10-16
	奈 良 S.C. (07442)4-6271	634	橿原市藝本町834-2
	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大 阪 S.C. (06)304-5731	532	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
大 阪	大 阪 S.C. (06)304-5731	532	大阪市淀川区田川2-4-28
	大 阪 南 S.S. (06)768-5489	543	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺 S.C. (0722)78-3353	593	堺市深井浜町3135
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	業 務 機 器 部 (06)304-6715	532	大阪市淀川区田川2-4-28
	【サービス関連全て】のご相談窓口		
和 歌 山	和 歌 山 S.S. (0734)72-6799	640	和歌山市太田430-8
	田 辺 S.S. (0739)22-9914	646	田辺市文里1-19-18
	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大 阪 S.C. (06)304-5731	532	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
兵 庫 東 部	神 戶 S.C. (078)252-0562	651	神戸市中央区磯上通3-2-16
	明 石 S.S. (078)924-1104	673	明石市西明石北町3-4-17
	【サービス関連全て】のご相談窓口		
兵 庫 西 部	姫 路 S.S. (0792)34-3893	670	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	所在地
中国地区			
岡 山	岡 山 S.C.	(086)243-1566	700 岡山市西吉松西町8-23
	広 島 S.C.	(082)243-9839	730 広島市中区光南3-9-17
広 島	福 山 S.S.	(0849)31-6984	721 福山市南蔵王町3-5-15
	呉 S.S.	(0823)74-9364	737 呉市阿賀北3-1-27-101
	山 口 S.C.	(0839)24-3758	753 山口市大字吉敷木田3446-4
山 口	徳 山 S.S.	(0834)27-1331	745 徳山市野上町2-85
	下 関 S.S.	(0832)51-1040	751 下関市銀野町2-14-23
四国地区			
香 川	高 松 S.C.	(0878)66-1200	761 高松市田村町205-1
徳 島	徳 島 S.C.	(0886)22-7387	770 徳島市沖浜2-37
高 知	高 知 S.C.	(0888)82-0546	780 高知市高須新町4-143
	松 山 S.C.	(0899)23-0372	791 松山市中央1-4-12
愛 媛	宇和島 S.S.	(0895)20-1018	798 宇和島市坂下津井407-40
	新居浜 S.S.	(0897)67-1030	792 新居浜市松津2-2-25
九州・沖縄地区			
福 岡	福 岡 S.C.	(092)431-1261	812-91 福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久 留 米 S.C.	(0942)39-3495	830 久留米市西町字神清1-1192
	北 九 州 S.C.	(093)921-3981	802 北九州市小倉北区三萩野2-9-3
	筑 豊 S.S.	(0948)29-1146	820 飯塚市片島2-22-27
佐 賀	佐 賀 S.S.	(0952)26-8785	840 佐賀市本庄町大字袋265-1
	長 崎 S.C.	(0958)62-5522	852 長崎市塚山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	857-1 佐世保市木風町1457-2
大 分	大 分 S.S.	(0975)43-1422	870 大分市大滝町4-1-2
熊 本	熊 本 S.C.	(096)353-4536	961-4 熊本市近見町1218-1
	宮 崎 S.C.	(0985)24-5401	890 宮崎市霧島町3-59
	延 岡 S.S.	(0982)35-7077	882 延岡市惣領町24-3
鹿 児 島	鹿 児 島 S.C.	(099)267-3572	891-01 鹿児島市小松原2-23-28
沖 縄	沖 縄 S.C.	(098)998-3631	901-22 沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰地区			
島 根	山陰ビクター販売所サービス部	(0852)31-2811	690 松江市西川津町1484-3
	出雲事務所サービス部	(0853)21-4611	693 出雲市今市町854
	浜田事務所サービス部	(0855)22-1584	697 浜田市長沢町671-1
	米子事務所サービス部	(0859)34-2801	683 米子市車尾845
鳥 取	鳥取事務所サービス部	(0857)23-2151	680 鳥取市富安2-45

●海外でのビデオムービーの修理ご相談窓口

北米・ハワイ	
カナダ JVC CANADA INC.	・ヒューストン [713-935-9331]
- トロント [416-293-1311]	10700 Hammerly, Suite 110, Houston, TX 77043
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7	・ボストン [508-881-5923]
	230 Eliot Street, Ashland, MA 01721-2377
アメリカ JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA	・ホノルル [808-833-5828]
- アトランタ [770-339-2522]	2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040
1500 Lakes Parkway Lawrenceville, GA 30243-5357	・マイアミ [954-472-1960]
- サンフランシスコ [415-871-2666]	8192 State Road 84, Davie FL 33324
890 Dubuque Avenue, S. San Francisco, CA 94080-1804	・ロサンゼルス [714-229-8011]
- シカゴ [630-851-7855]	5685 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
705 Enterprise Street Aurora, IL 60504-8149	・ハリウッド [310-659-5262]
- ニュージャージー [201-808-9279]	8764 Beverly Boulevard West Hollywood, CA 90048
107 Little Falls Road, Fairfield, NJ 07004-2105	

(注)・ヨーロッパその他の地域ではテレビジョン方式の違い等の問題がありますので、おでかけの前に下記お客様ご相談センターにご相談ください。
 ・海外では日本の保証書は適用されませんので、修理は全て有料となります。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311 (06)765-4161	113 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル 543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル
------------	-------------------------------	---

サービスネットワークBS 9001

その他



省エネで
守る環境
豊かな暮らし



故障かな?と思ったら

修理に出す前にpage49~page53をご確認ください。

修理についてのご相談は

「お買い上げ販売店」へご相談ください。

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼
になれない場合は、page57の「保証とアフターサービス」
をお読みの上、page58~page59の「ビクターサービス窓
口」にご相談ください。

お買物相談

お取り扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は「お客様
ご相談センター」にご相談ください。

お客様ご相談センター

東 京

 (03)5684-9311

〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大 阪

 (06)765-4161

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル



JVC

日本ビクター株式会社

ビデオ事業部

〒221 横浜市中区神奈川区守屋町3丁目12番地 電話(045)450-2550